

4 世界のデジタル関連サービス貿易

大木 博巳 *Hiromi Oki*

(一財) 国際貿易投資研究所 研究主幹

要約

・新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）を契機にしてデジタル関連（知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス）サービス貿易が大きく拡大している。WTOが公表した世界のサービス貿易データによれば、世界のサービス輸出に占めるデジタル関連貿易の比率は、2019年の40.8%が2020年に49.4%に跳ね上がっている。

・デジタル関連サービス貿易の最大の輸出国は米国である。米国は、2021年のデジタル関連サービス貿易で輸出の18.9%、輸入では12.4%を占めている。次に、英国とアイルランドの輸出がともに8.4%で続き、3か国で35.7%を占めている。輸入でも、米国、アイルランド、英国が上位を占め、合計して27.6%を占めている。

・デジタル関連サービス貿易の成長国は、2005～21年間の成長率でみて、輸出ではアイルランドとシンガポールの13.2%が最も高く、次に中国（12.9%）、インド（11.7%）と続いている。輸入では中国の11.7%、アイルランドが10.4%、インドが10.2%であった。

・デジタル関連サービス貿易収支は、2021年で米国が1,820億ドルの黒字、第2位はインドの740億ドルである。米国の黒字は知的財産権等使用料とその他業務サービスで稼ぎ、インドは通信・コンピュータ・情報サービスに競争力を有している。第3位が英国の410億ドルである。米国のデジタル関連サービス貿易黒字は、対アイルランドで880億ドルの黒字、対シ

ンガポール貿易で239億ドルの黒字とこの2か国が貢献している。

・アイルランドは、通信・コンピュータ・情報サービスでは輸出大国である一方、知的財産権等使用料やその他業務サービスでは輸入大国である。差し引いた収支は僅か10億ドル程度である。アイルランドのデジタル関連サービス貿易構造は、米国に知的財産権等使用料を支払い、欧州市場を中心に、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービスを輸出している。

・日本の国際収支データによれば、知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービスを合計した2021年の収支は、ドル換算して226億ドルの赤字となる。WTOデータの280億ドルと比べて赤字幅が小さい。また、日本銀行は、デジタルサービス貿易の項目として、①著作権等使用料、②通信・コンピュータ・情報サービス、③専門経営コンサルティングサービスの項目に限定している。これらの項目を合計すると日本のデジタル関連貿易収支の赤字幅は398億ドルに膨らむ。

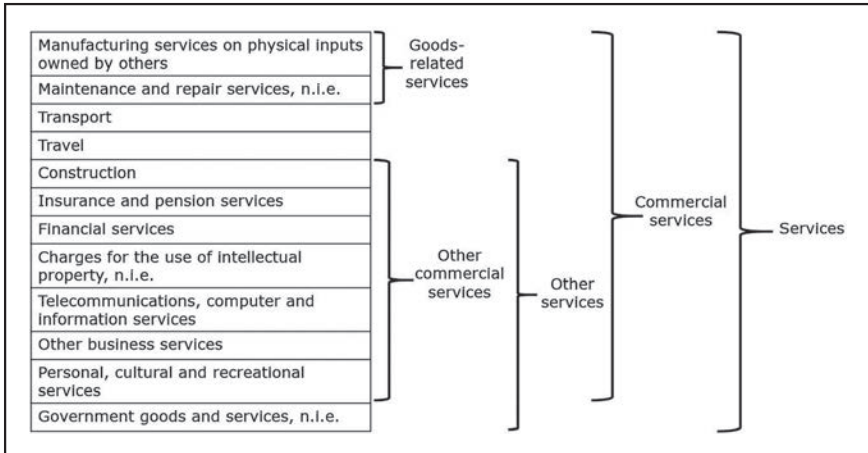
・米国のサービス貿易統計（BEA）では、米国企業が米国内から海外に輸出している取引（輸入では米国が外資系企業から輸入している取引）と在外米企業が海外市場で販売している金額（在米外資系企業から米国が調達）を公表している。2021年に米企業が海外市場で販売しているサービス額は、2兆6,091億4,600万ドル。このうち、米国内からの輸出額が6,574億3,600万ドル（在米外資系企業の輸出を含めると8,011億4,300万ドル）、在外米企業の販売額が1兆9,517億1,000万ドルと海外展開している米多国籍企業によるサービス販売が輸出の約3倍の規模に達している。デジタルサービス貿易分野における米国の競争力は、米企業の現地販売額を含めると、圧倒的な強みを持っている。

1. 世界のサービス貿易

1.1 サービス貿易分類

WTOは項目別サービス貿易データを基に世界198か国のサービス貿易を試算している^(注1)。以下では、このWTOの国別項目別サービス貿易データに

図1. サービス貿易分類 (WTO)



資料：WTO；Technical note

に基づき、2005年～21年間ににおける世界のサービス貿易の動向をとりまとめる。

サービス貿易の項目は、加工サービスや修理維持の財関連サービス、輸送、旅行、その他商業（コマーシャル）サービスとして、建設、保険、金融、知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報、その他業務サービス（専門・経営コンサルティングサービス等）、文化・娯楽、最後は政府サービスである（図1）。本稿では、このうち政府サービスを除いたコマーシャルサービスをサービス貿易として分析をする。

日本銀行は、サービス貿易の項目を、モノの移動や生産活動に関するもの、ヒトの移動や国外での消費活動に関するもの、デジタルに関するもの、金融や保険に関するもの、上記以外のもの五つに分類している（表1）。

このうちデジタルに関する分野として、①知的財産権等使用料ではソフトウェアの製造・販売や音楽・映像の配信に伴う各種ライセンス料などの著作権等使用料、②通信・コンピュータ・情報サービス、③その他の業務サービスの中の専門・経営コンサルティングサービスをデジタル関連収支としている。WTOが公表しているサービス貿易項目には、知的財産権等使用料やその他業務サービスの細分類がないため、以下では、知的財産権等使用料、

表1. サービス貿易の分類

			モノ関連 収支	ヒト関連 収支	デジタル 関連収支	カネ関連 収支	その他	
輸送	海上輸送	海上旅客		○				
		海上貨物	○					
		その他海上輸送					○	
	航空輸送	航空旅客		○				
		航空貨物	○					
		その他航空輸送					○	
	その他輸送						○	
旅行				○				
その他 サービス	委託加工サービス		○					
	維持修理サービス		○					
	建設						○	
	保険・年金サービス					○		
	金融サービス					○		
	知的財産権等使用料	産業財産権等使用料		○				
		著作権等使用料				○		
	通信・コンピュータ・ 情報サービス	通信サービス				○		
		コンピュータサービス				○		
		情報サービス				○		
	その他業務サービス	研究開発サービス		○				
		専門・経営コンサルティングサービス				○		
		技術・貿易関連・その他業務サービス		○				
	個人・文化・ 娯楽サービス	音響・映像関連サービス						○
		その他個人・文化・娯楽サービス						○
公的サービス等							○	

出所：日本銀行；「国際収支統計からみたサービス取引のグローバル化」（2023年8月）

https://www.boj.or.jp/research/wps_rev/rev_2023/data/rev23j09.pdf

通信・コンピュータ・情報サービス、その他の業務サービスをデジタル関連サービス貿易としてデジタル貿易の動向を探ってみる。

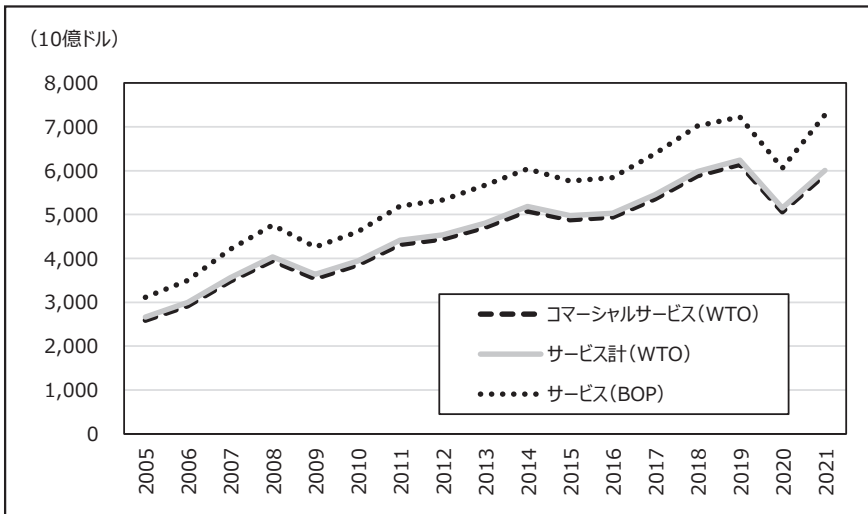
1.2 IMFとWTOのサービス貿易

世界のサービス貿易は、IMFの国際収支（BOP）統計が使われている。IMFのBOP統計によるサービス貿易額とWTOのサービス貿易額を比較すると、IMFのサービス貿易額がWTOを上回っている（図2）。2021年ではIMFのBOPが7兆2,730億ドル、WTOのコマーシャルサービスの5兆9,110億ドルを1兆3,620億ドル上回っている。2005年ではその差が5,220億ドルであった。年々格差が拡大している。前年比伸び率では、WTOもIMFのBOPも、

2005～19年間は大きな乖離はなかったが、2021年はWTOの商業サービスが前年比16.8%増に対してIMFのBOPは20.1%増とBOPの伸び率が高かった（図3）。

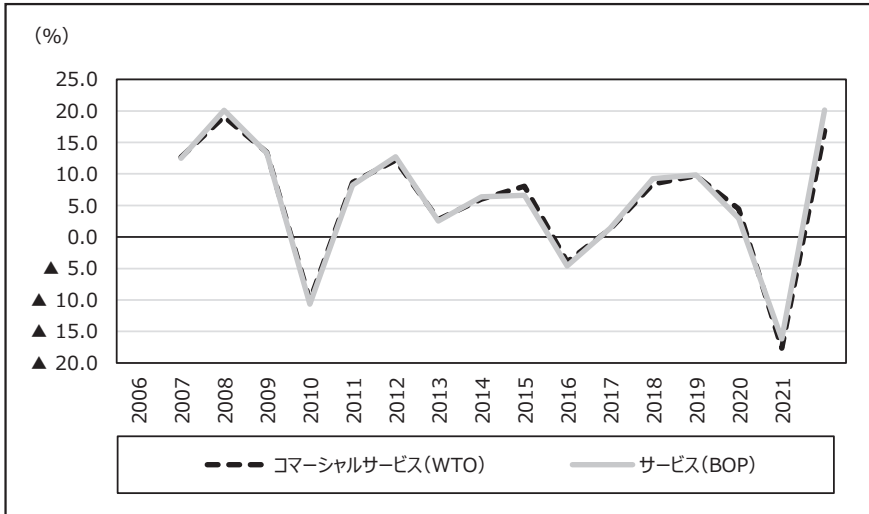
また、サービス貿易の規模を財の貿易（輸出）と比較すると、2021年でサービス輸出は財の輸出の26.8%、2005年は24.6%と若干比率が高まっている。財の輸出に対するサービス輸出の比率は、2016～19年間は3割を超えていたが、コロナ禍後に低下した。サービス輸出の前年比伸び率は財と比べて、比較的高い成長率で推移してきている（図4、図5）。世界金融危機後（2009年）やチャイナショック（15年）時には財の輸出が大きく落ち込んだ一方で、サービス輸出の落ち込み幅は比較的軽微であった。しかし、コロナ禍後の20年には、サービスの落ち込み幅が財を上回り、21年には財の輸出が大きく回復したのに対して、サービス輸出の伸び率は財を下回った。

図2. IMFとWTOのサービス輸出額の推移



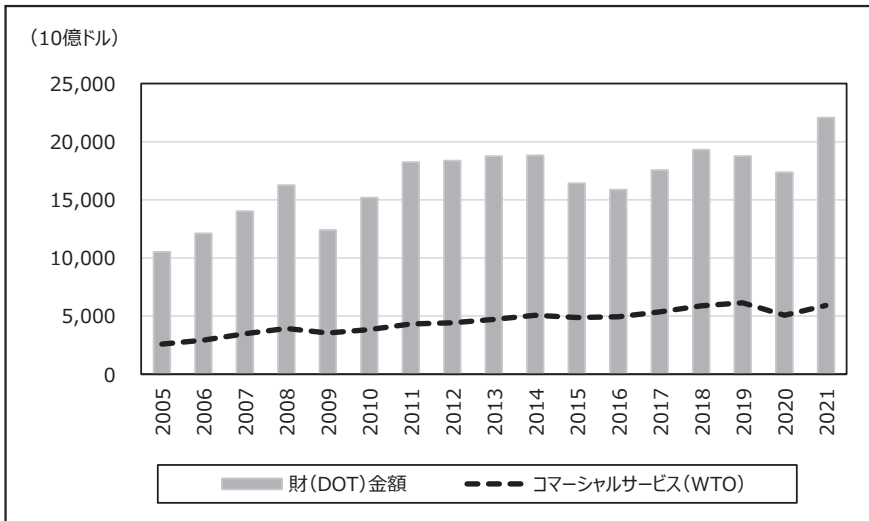
資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010、IMF；BOPよりITI作成

図3. WTO、BOPのサービス輸出の推移（前年比増減率）



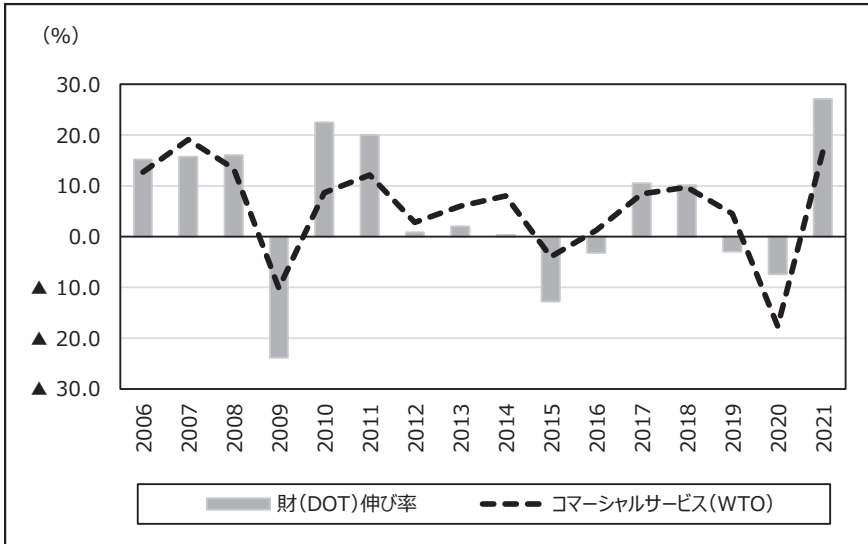
資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010、IMF；BOPよりITI作成

図4. 財とサービス輸出の規模比較



資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010、IMF；DOTよりITI作成

図5. 財とサービス輸出の推移（前年比増減率）



資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010、IMF；DOTよりITI作成

2. 新型コロナの影響を受けた2021年の世界のサービス貿易

2.1 新型コロナの影響

世界のコマーシャルサービス貿易（以下サービス貿易とする）は、WTOデータでは、2021年に世界のサービス輸出（受け取り）額で5兆9,110億ドル、2005年の2兆5,910億ドルと比べて2.3倍増になっている。

21年の項目別サービス輸出は、その他業務サービスが世界のサービス輸出の27.4%を占めて最大、次に輸送の21.3%、第3位が通信・コンピュータ・情報サービスの11.5%、第4位が旅行の10.8%である（表2）。これまで、サービス貿易といえば、伝統的に輸送、旅行が上位を占めていた。しかし、新型コロナを契機にして、これらの比率が低下し、代わって、その他業務サービスや通信・コンピュータ・情報サービス等のデジタル関連サービス分野が台頭している。

表2. 世界の項目別サービス貿易（輸出：2005、21年）

(単位：10億ドル、%)

業種	2005		2021		2005-21 平均伸び率	2019-21 平均伸び率
	金額	構成比	金額	構成比		
財関連サービス	92	3.6	259	4.4	6.7	1.5
輸送	613	23.7	1,262	21.3	4.6	6.3
旅行	690	26.6	636	10.8	▲0.5	▲33.7
その他サービス	1,196	46.1	3,755	63.5	7.4	6.2
建設	47	1.8	98	1.7	4.6	▲2.8
保険サービス	83	3.2	213	3.6	6.1	9.3
金融サービス	184	7.1	538	9.1	6.9	9.7
デジタル関連サービス	848	32.7	2,791	47.2	7.7	5.5
知的財産権等使用料	179	6.9	490	8.3	6.5	0.9
通信・コンピュータ・情報サービス	151	5.8	681	11.5	9.9	12.3
その他業務サービス	518	20.0	1,620	27.4	7.4	4.5
文化・興行サービス	34	1.3	115	1.9	7.9	10.0
コマーシャルサービス	2,591	100.0	5,911	100.0	5.3	▲1.9

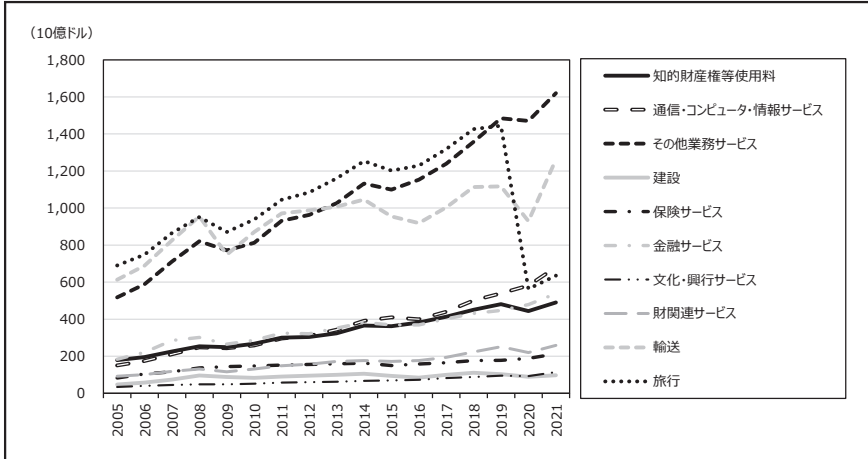
注. デジタル関連サービス：知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

2005～21年間ににおける世界のサービス輸出の成長率は5.3%、このうち旅行が0.5%減、輸送が4.6%増、他方で、その他業務サービスは7.4%増、通信・コンピュータ・情報サービスが9.9%増とデジタル関連サービス貿易が伸びている。特に20年には、新型コロナ拡大の影響をもちに受けて、旅行が大幅に落ち込み、貿易が停滞したことで輸送も落ち込んだ。デジタル関連サービス貿易は、微減にとどまるか微増に転じた（図6）。

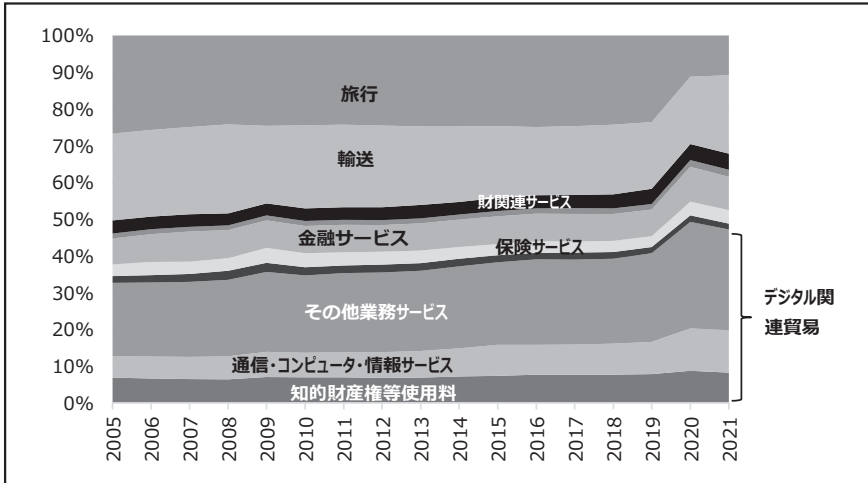
新型コロナのパンデミック化により、欧米をはじめとして世界の各市場で移動制限や小売り等の接客施設が閉鎖されたことで、対面式のサービスが落ち込んだ一方、新型コロナを契機としてデジタル化が進んだ。オンライン上で遠隔地にいる相手とリアルタイムで連絡を取ることや、オンラインショッピングへの需要が高まり、これらを支えるデジタル関連サービスの貿易が拡大した。コロナ禍は世界のサービス貿易の構造変化をもたらした。世界のサービス貿易に占めるデジタル関連貿易の比率は、2019年の40.8%から20年には49.4%に跳ね上がっている（図7）。

図6. 項目別サービス貿易輸出額の推移



資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

図7. 世界のサービス貿易に占める項目別シェア（旅行、輸送、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務、知財、金融など）



資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

2.2 サービス貿易大国、米国

世界のサービス貿易の中心は、米国である。2021年の米国のサービス輸出は9,220億ドル、世界輸出の15.6%を占めている（表3）。米国の次が英国の4,370億ドル、ドイツ、中国、アイルランドと続いている。輸入でも、米国が7,180億ドル、世界輸入の12.3%を占めて最大である。次に、ドイツ、中国、英国、アイルランドの順で輸出と同じ顔ぶれとなっている。

2005～21年間の成長率は、輸出ではアイルランドが10.3%と高成長を遂げている。次に、インド、シンガポール、中国と続いている。輸入では、中国とルクセンブルクが9.9%、アイルランドが8.9%、シンガポールが8.6%、インドが8.1%と輸出同様にアイルランド、インド、シンガポール、中国が高

表3. 世界のサービス貿易上位20か国（輸出入：2021年）

（単位：10億ドル、%）

国名	輸出			国名	輸入		
	金額	構成比	2005-21 平均伸び率		金額	構成比	2005-21 平均伸び率
米国	922	15.6	5.7	米国	718	12.3	5.1
英国	437	7.4	4.1	ドイツ	400	6.8	4.2
ドイツ	369	6.3	5.2	中国	358	6.1	9.9
中国	296	5.0	8.0	英国	354	6.0	3.7
アイルランド	292	4.9	10.3	アイルランド	285	4.9	8.9
フランス	259	4.4	3.9	フランス	242	4.1	4.1
オランダ	222	3.8	4.8	オランダ	233	4.0	5.4
シンガポール	218	3.7	9.5	スイス	227	3.9	5.9
スイス	160	2.7	4.5	シンガポール	193	3.3	8.6
インド	157	2.7	9.7	日本	192	3.3	3.0
日本	154	2.6	3.5	香港	153	2.6	6.4
香港	137	2.3	6.1	インド	126	2.2	8.1
スペイン	117	2.0	2.0	ベルギー	122	2.1	5.0
ルクセンブルグ	112	1.9	7.8	イタリア	121	2.1	2.4
ベルギー	111	1.9	5.2	カナダ	115	2.0	3.9
イタリア	109	1.8	1.8	ルクセンブルグ	113	1.9	9.9
カナダ	95	1.6	3.7	韓国	100	1.7	4.8
韓国	92	1.6	5.5	スペイン	85	1.5	2.5
デンマーク	81	1.4	5.4	スウェーデン	82	1.4	4.7
スウェーデン	75	1.3	4.8	豪州	76	1.3	4.1
小計	4,418	74.7	5.5	小計	4,294	73.3	5.3
世界	5,911	100.0	5.3	世界	5,860	100.0	5.3

注. 2021年を基準とした上位20か国。

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

成長を記録している。米国の成長率は、輸出が5.7%、輸入が5.1%と輸出は世界平均を上回っている。

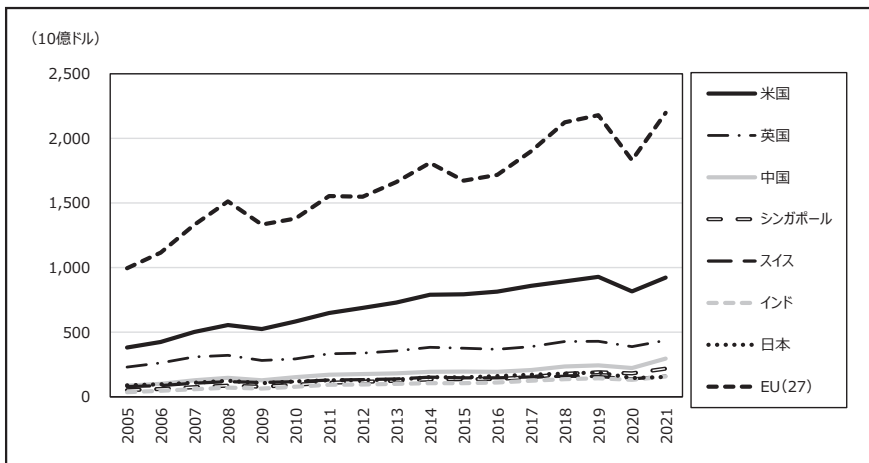
世界のサービス貿易は、国では米国が抜きん出ているが、地域で見ると、欧州が世界の過半近くを占めている。特に、欧州の核となっているEUは、輸出額が2兆1,980億ドル、米国の2.4倍の規模である（図8）。EUのサービス輸出は、ドイツが最大、次にアイルランド、フランス、オランダと続いている。アイルランドがEUのNo.2のポジションにいることが財の貿易とは、大きく異なっている点である。EUのサービス輸出は、ドイツ、フランス、オランダが不動の順番であったがコロナ禍の2020年にアイルランドがフランス、オランダを抜き去った（図9）。

2.3 財とサービス貿易の上位国比較と収支

サービス貿易の上位国と財の貿易の上位国とは同じ顔ぶれが並んでいる。

サービス貿易大国の米国は、2021年に財の輸出では第2位、輸入では第1位である。中国は、財の輸出では世界最大であるがサービス輸出では第4位、

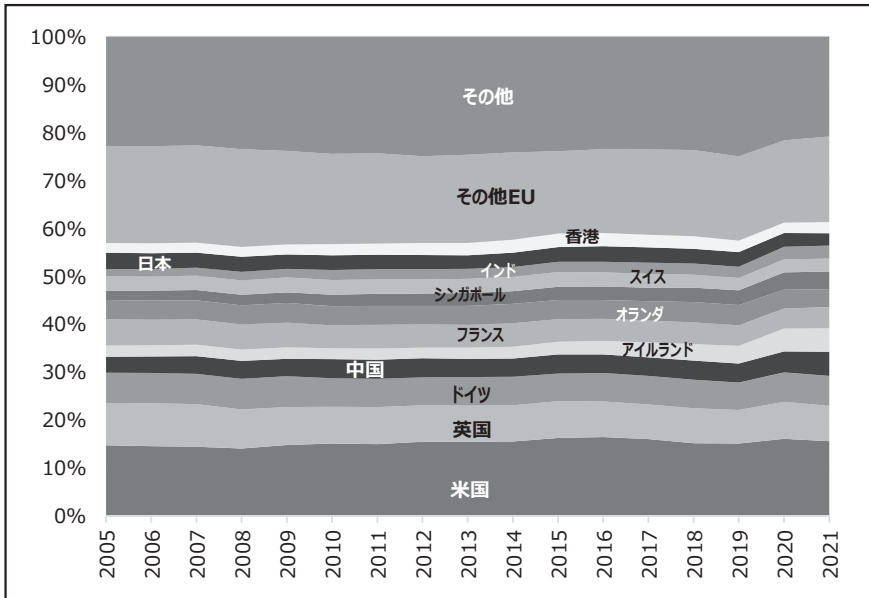
図8. 主要国のサービス輸出の推移（上位7か国及びEU：2021年）



注. コマーシャルサービスの上位国（2021年基準）及びEU

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

図9. 世界のサービス輸出に占める国別シェア



注. 2021年基準の上位国及びEU

資料 : WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

第5位のアイルランドとほぼ同じ規模である。財の輸入では、中国は米国を追い越す勢いであるが、サービス輸入ではドイツを下回る第3位、米国との差は大きい。

上位10か国の財貿易の国別ランキングとサービス貿易のランキングを比べて、特徴は、サービス貿易にはアイルランド、シンガポール、スイスの小国が入っていることである。また、サービス輸出ではインドが、2021年には第10位に入っている。財の貿易では、上位に食い込んでいる日本は、サービス輸出では第11位、輸入は第10位に後退している。

貿易収支では、サービス収支の黒字大国は米国である。次に、英国、スペイン、インド、シンガポール、フランス、アイルランド、デンマークまでが黒字国となっている。このうち、アイルランド、デンマークは財貿易収支でも黒字となっているが、他の国は赤字である。米国は財の大幅赤字をサービ

表4. 財の輸出・輸入（上位20か国：2000・21年）

（単位：％）

順位	輸出				輸入			
	2021		2000		2021		2000	
	国名	構成比	国名	構成比	国名	構成比	国名	構成比
1	中国	15.0	米国	11.6	米国	12.5	米国	18.4
2	米国	7.8	ドイツ	8.3	中国	11.8	ドイツ	7.4
3	ドイツ	7.3	日本	7.2	ドイツ	6.3	日本	5.6
4	オランダ	3.7	フランス	4.9	日本	3.4	英国	5.2
5	日本	3.4	英国	4.3	オランダ	3.3	フランス	5.0
6	香港	3.0	カナダ	4.1	フランス	3.2	カナダ	3.8
7	韓国	2.9	中国	3.8	香港	3.2	イタリア	3.5
8	イタリア	2.7	イタリア	3.6	英国	2.9	中国	3.3
9	フランス	2.6	オランダ	3.5	韓国	2.7	オランダ	3.2
10	ベルギー	2.4	香港	3.0	インド	2.5	香港	3.2
11	カナダ	2.2	ベルギー	2.8	イタリア	2.5	メキシコ	2.7
12	メキシコ	2.2	韓国	2.6	メキシコ	2.4	ベルギー	2.6
13	ロシア	2.2	メキシコ	2.5	ベルギー	2.3	韓国	2.4
14	英国	2.0	台湾	2.2	カナダ	2.3	スペイン	2.3
15	シンガポール	2.0	サウジアラビア	2.1	シンガポール	2.0	台湾	2.1
16	台湾	1.8	シンガポール	2.1	スペイン	1.9	シンガポール	2.0
17	インド	1.8	スペイン	1.7	台湾	1.7	スイス	1.2
18	スペイン	1.7	ロシア	1.6	アラブ首長国連邦	1.5	マレーシア	1.2
19	スイス	1.7	マレーシア	1.5	ポーランド	1.5	スウェーデン	1.1
20	豪州	1.5	スウェーデン	1.3	ベトナム	1.4	オーストリア	1.1
	小計	70.0	小計	74.9	小計	71.1	小計	76.3
	世界計	100.0	世界計	100.0	世界計	100.0	世界計	100.0

注：各年の上位20か国

資料：IMF；DOT（2023年12月）、台湾貿易統計よりITI作成

スの黒字で賄うことができていない。サービス収支の赤字国は、財貿易収支では黒字国となっているケースが多いが、ルクセンブルク、香港、カナダ、日本はともに赤字となっている。

3. 2005～21年間のサービス貿易の成長地域・国

世界のサービス貿易の国際取引は、地域国別にみると、東アジアが台頭している財と比べて欧米間の取引が占める比率が、依然として大きい。表6は、2021年の世界のサービス貿易（輸出ベース）の地域国別間取引のマトリクスである。世界のサービス輸出を100とすると、欧州（EU、英国、スイ

表5. サービス貿易と財貿易の収支

(単位：10億ドル)

国名	2021		2019		2010	
	サービス	財	サービス	財	サービス	財
米国	204	▲1,071	229	▲846	126	▲691
英国	83	▲205	49	▲224	47	▲174
スペイン	32	▲40	56	▲39	38	▲73
インド	31	▲176	22	▲155	8	▲128
シンガポール	25	▲1	13	31	5	42
フランス	17	▲130	12	▲84	9	▲87
アイルランド	7	70	▲121	69	▲21	54
デンマーク	6	6	▲1	13	0	13
ルクセンブルグ	▲1	▲9	▲0	▲8	13	▲6
スウェーデン	▲7	2	▲5	2	▲1	10
韓国	▲8	29	▲22	40	▲13	41
ベルギー	▲10	22	▲12	18	▲5	16
オランダ	▲11	83	9	73	12	62
イタリア	▲11	48	0	63	▲7	▲40
香港	▲16	▲42	19	▲43	6	▲43
カナダ	▲20	▲16	▲27	▲33	▲29	▲28
豪州	▲22	81	▲20	46	▲15	7
ドイツ	▲30	215	▲42	255	▲42	204
日本	▲37	▲13	▲14	▲15	▲27	76
中国	▲63	689	▲167	430	▲15	185
スイス	▲67	59	▲55	37	▲25	19

注. サービスの輸出・輸入上位20か国のうち、黒字国基準で並び替えたもの（2021年基準）

資料：サービスはWTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010、財はIMF；DOT（2023年12月）よりITI作成

ス等）が占める比率が49.9%、北米（米国・カナダ）が17.2%、うち米国が15.6%、インド太平洋（日本、韓国、台湾、中国、ASEAN、豪州、NZ、インド）が21.9%と欧米の取引が世界の6割以上を占めている。

世界のサービス貿易の半分近くを占める欧州では、経済統合が深化しているEUがサービス貿易の中核となっている。欧州のサービス貿易（49.9%）のうち37.2%はEUが占めている。このうち19.1%はEU域内、18.1%がEU域外である。

米国のサービス輸出は、世界のサービス貿易に占める比率でEUの域外輸出を若干下回る15.6%、このうち欧州向け輸出が7.2%と過半近くを占めている。欧州の対米輸出は同じく5.6%、米欧州間の相互取引の比率は12.8%とな

っている。他方、米国とインド太平洋の相互取引は7.0%、欧州とインド太平洋の相互取引は12.3%である。欧州とインド太平洋の相互取引は米欧州の相互取引とほぼ同じ規模まで成長している。

サービス貿易の成長率をみると、インド太平洋地域が成長地域になっている。インド太平洋地域のサービス貿易成長率は、2005～21年間で輸出が6.4%、輸入が6.3%、世界平均の5.3%を上回っている（表7）。特に、インド太平洋地域の域内貿易が6.4%で拡大し、世界のサービス貿易の10.6%を占め1割を超えている。インド太平洋地域で最も高い成長を記録している国がインドである。中国、ASEAN、インドの相互取引が活発であった。

また、2005～21年間における世界のサービス貿易で最も高い成長を遂げた

表6. 国地域別サービス貿易（世界輸出に占める国地域別シェア：2021年）

（単位：%）

輸出先 輸出国地域	輸出先							輸出先					世界
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	
北米	1.8	0.8	4.2	0.8	0.9	1.0	0.5	7.5	5.3	2.2	1.2	0.7	17.2
米国	1.0	-	4.0	0.8	0.9	1.0	0.4	7.2	5.1	2.2	1.1	0.7	15.6
インド太平洋	3.2	3.0	10.6	1.2	2.5	2.8	0.7	5.4	3.4	0.5	1.0	0.5	21.9
日本	0.6	0.6	1.1	-	0.3	0.5	0.1	0.7	0.3	0.0	0.2	0.1	2.6
中国	0.6	0.5	2.4	0.2	-	0.6	0.1	1.3	0.9	0.1	0.1	0.1	5.0
ASEAN (10)	0.6	0.6	3.0	0.6	0.7	0.7	0.2	1.4	0.9	0.2	0.2	0.2	5.5
インド	0.6	0.5	0.7	0.1	0.1	0.3	-	0.9	0.5	0.1	0.2	0.1	2.7
欧州	6.1	5.6	6.9	1.0	1.8	1.7	0.7	32.1	24.3	1.9	3.3	2.1	49.9
EU (27)	3.7	3.4	4.9	0.7	1.3	1.2	0.5	25.5	19.1	1.2	3.0	1.7	37.2
アイルランド	0.6	0.6	1.1	0.2	0.2	0.3	0.1	2.7	1.9	-	0.5	0.1	4.9
英国	1.7	1.6	1.2	0.2	0.2	0.3	0.1	3.7	3.2	0.5	-	0.2	7.4
スイス	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	1.4	1.1	0.1	0.2	-	2.7
中南米（その他西半球含）	1.5	1.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.6	0.5	0.1	0.1	0.1	2.9
その他	1.2	1.1	2.2	0.2	0.7	0.5	0.3	3.3	2.1	0.1	0.5	0.3	8.2
世界	13.9	11.9	24.4	3.2	6.0	6.0	2.1	48.9	35.5	4.8	6.0	3.7	100.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

国の一つがアイルランドである。アイルランドのサービス輸出成長率は10.3%、輸入は8.9%と輸出入ともに大きく伸びた。特に、アイルランドのサービス輸出成長率が高かった国地域は、インド太平洋地域の14.3%である。また、輸入では、対米が12.0%、インド太平洋地域が12.4%で拡大している。

なお、インド太平洋地域のサービス貿易が躍進している中で、日本の成長率は極めて低く、成長地域のインド太平洋向けサービス輸出の伸び率が3.3%、輸入は3.8%と振るわなかった。

世界のサービス貿易に占めるインド太平洋地域のシェアは、2021年で21.9%を占めている。内訳は、ASEANが5.5%、中国が5.0%、インドが2.7%、日本は2.6%とインドを下回っている。ASEANが中国を上回っているが、こ

表7. 国地域別サービス貿易（輸出成長率：2005～21年）

（単位：%）

輸出先 輸出国地域	輸出先								輸出先				世界
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	
北米	3.2	3.1	5.3	0.9	10.2	8.5	8.9	6.0	6.7	12.0	3.6	8.0	5.5
米国	3.3	-	5.3	0.9	10.3	8.6	8.4	6.2	6.8	12.0	3.7	8.3	5.7
インド太平洋	5.7	5.7	6.4	3.8	9.1	7.1	8.7	6.4	6.4	12.4	5.5	8.8	6.4
日本	2.9	2.9	3.3	-	5.3	4.5	4.9	4.2	2.8	7.0	5.9	9.0	3.5
中国	8.5	8.6	7.1	4.8	-	12.4	11.3	8.6	8.5	15.1	8.4	8.5	8.0
ASEAN (10)	7.1	7.1	7.2	5.7	11.7	5.5	8.5	6.5	6.3	13.9	5.8	10.8	6.9
インド	10.9	11.0	9.9	5.8	11.1	11.0	-	8.9	9.2	15.4	8.5	9.1	9.7
欧州	5.1	5.2	6.5	4.0	10.5	6.6	7.0	4.6	4.8	6.3	3.2	5.0	4.9
EU (27)	5.1	5.2	7.4	4.7	10.9	7.3	7.7	4.8	5.1	6.4	3.0	5.1	5.1
アイルランド	9.9	9.8	14.3	13.0	13.9	13.1	13.8	9.0	10.0	-	5.7	11.4	10.3
英国	5.4	5.4	3.8	1.5	9.8	3.3	5.5	3.7	3.9	5.5	-	4.4	4.1
スイス	4.5	4.7	6.6	4.6	7.8	9.4	4.9	4.3	4.0	11.7	6.1	-	4.5
中南米（その他西半球含）	5.8	6.0	6.3	3.6	9.9	6.7	8.3	1.1	0.3	▲1.3	3.9	6.9	4.3
その他	4.8	4.7	7.0	3.5	11.5	6.6	8.4	4.3	4.1	9.6	4.1	6.2	5.4
世界	5.0	5.2	6.3	3.0	9.9	7.1	8.1	4.9	5.1	8.9	3.7	6.1	5.3

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、バハマ、パプアニューギニア、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表8. 世界のサービス輸出に占める国地域別シェア増減 (2005～21年)

(単位: %ポイント)

輸出先 輸出国地域	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	▲0.7	▲0.3	0.0	▲0.8	0.5	0.4	0.2	0.8	1.0	1.4	▲0.3	0.2	0.4
米国	▲0.4	-	0.0	▲0.8	0.4	0.4	0.2	0.9	1.0	1.4	▲0.3	0.3	0.9
インド太平洋	0.2	0.2	1.6	▲0.3	1.1	0.7	0.3	0.9	0.5	0.3	0.0	0.2	3.3
日本	▲0.3	▲0.3	▲0.4	-	0.0	▲0.1	▲0.0	▲0.1	▲0.2	0.0	0.0	0.0	▲0.8
中国	0.2	0.2	0.6	▲0.0	-	0.4	0.1	0.5	0.3	0.1	0.0	0.0	1.7
ASEAN (10)	0.1	0.1	0.7	0.0	0.4	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	1.2
インド	0.3	0.3	0.3	0.0	0.1	0.1	-	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	1.3
欧州	▲0.2	▲0.1	1.2	▲0.2	1.0	0.3	0.2	▲3.7	▲1.7	0.3	▲1.3	▲0.1	▲3.4
EU (27)	▲0.1	▲0.1	1.3	▲0.1	0.7	0.3	0.1	▲2.1	▲0.4	0.2	▲1.2	▲0.1	▲1.2
アイルランド	0.3	0.3	0.8	0.1	0.1	0.2	0.1	1.2	0.9	-	0.0	0.1	2.6
英国	0.0	0.0	▲0.3	▲0.1	0.1	▲0.1	0.0	▲1.0	▲0.8	0.0	-	▲0.0	▲1.5
スイス	▲0.1	▲0.0	0.1	▲0.0	0.0	0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.2	0.1	0.0	-	▲0.3
中南米 (その他西半球含)	0.1	0.2	0.1	▲0.0	0.1	0.0	0.0	▲0.6	▲0.6	▲0.1	▲0.0	0.0	▲0.5
その他	▲0.1	▲0.1	0.5	▲0.1	0.4	0.1	0.1	▲0.5	▲0.4	0.1	▲0.1	0.0	0.1
世界	▲0.6	▲0.2	3.4	▲1.4	3.0	1.4	0.7	▲3.2	▲1.2	2.0	▲1.7	0.4	-

資料: WTO; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

れはシンガポールのサービス輸出が伸びているためである。

世界のサービス輸出に占める国・地域別のシェア増減 (2005～21年間のシェア変化、表8) をみるとインド太平洋地域のシェアは、2005～21年間で輸出は3.3%ポイント増、輸入が3.4%ポイント増とシェアを拡大させている。特に中国のシェア増加幅が大きい。米国も輸出シェアを拡大させている。他方、欧州は輸出で3.4%ポイント減、輸入も3.2%ポイント減とシェアを低下させている。

3.1 世界のサービス貿易 (項目別国地域別)

世界の項目別サービス輸出を俯瞰すると、2021年の最大のサービス輸出項目は、その他業務サービス、第2位が輸送、第3位が通信・コンピュータ・情報サービスである (表9)。欧州は、その他業務サービスと輸送の輸出が、それぞれ世界のサービス輸出に占める比率の1割を超えている。米国や中国

表9. 項目別サービス輸出に占める地域国のシェア (2021年)

(単位: %)

	北米		インド 太平洋	インド				欧州			世界
	米国			日本	中国	ASEAN (10)	インド	EU (27)	英国		
財関連サービス	0.5	0.4	1.2	0.0	0.5	0.4	0.0	2.1	1.8	0.2	4.4
輸送	1.8	1.5	6.4	0.6	1.8	1.5	0.3	10.0	8.0	0.6	21.3
旅行	1.3	1.1	1.6	0.1	0.2	0.4	0.1	5.2	4.0	0.5	10.8
その他サービス	13.6	12.5	12.8	1.8	2.5	3.3	2.2	32.5	23.4	6.1	63.5
建設	0.1	0.1	0.7	0.1	0.3	0.1	0.0	0.7	0.5	0.1	1.7
保険サービス	0.5	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	0.0	1.7	1.1	0.4	3.6
金融サービス	2.8	2.7	1.4	0.2	0.1	0.5	0.1	4.5	2.6	1.4	9.1
デジタル関連サービス	9.8	8.9	9.9	1.5	2.0	2.5	2.0	24.6	18.6	4.0	47.2
知的財産権等使用料	3.0	2.9	1.2	0.7	0.1	0.2	0.0	3.9	2.8	0.5	8.3
通信・コンピュータ・情報サービス	1.5	1.3	2.4	0.1	0.5	0.5	0.9	6.8	5.6	0.7	11.5
その他業務サービス	5.3	4.8	6.2	0.7	1.4	1.8	1.1	14.0	10.2	2.7	27.4
文化・興行サービス	0.5	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.9	0.6	0.2	1.9
コマーシャルサービス	17.2	15.6	21.9	2.6	5.0	5.5	2.7	49.9	37.2	7.4	100.0

注. 北米: 米国・カナダ

インド太平洋: 日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州: EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料: WTO; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

を寄せ付けないほどの突出ぶりである。

欧州のサービス輸出は、財関連サービス、輸送、旅行、建設、保険、金融、知的財産権、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス、文化・興行の輸出でいずれも世界輸出の4割以上を占めている（表10）。欧州が支配する世界のサービス輸出で、米国が対抗している分野は、金融サービス、知的財産権等使用料である。この2項目においては米国の輸出は、EUを上回っている。

インド太平洋地域では、ASEANの輸出が日本や中国を上回っている。これは、シンガポールの輸出によるもので、デジタル関連サービスや金融サービスの輸出では、日本や中国を先行している。中国は建設が大きく、一帯一路などの政策効果によるものであろう。

知的財産権等使用料では日本、通信・コンピュータ・情報サービスではインド、その他業務サービスの輸出ではASEANの比率が高く、貿易大国、中

表10. 項目別サービス輸出の国地域依存度 (2021年)

(単位: %)

	北米		インド太平洋	EU (27)				欧州	EU (27)		英国	世界
	米国			日本	中国	ASEAN (10)	インド					
財関連サービス	10.8	9.7	26.9	1.1	11.7	8.2	0.6	48.6	40.0	4.2	100.0	
輸送	8.3	7.1	29.8	2.9	8.2	7.2	1.6	47.0	37.7	2.9	100.0	
旅行	12.4	10.5	14.9	0.9	2.0	3.6	1.1	48.8	36.9	4.7	100.0	
その他サービス	21.5	19.7	20.1	2.9	4.0	5.1	3.4	51.1	36.9	9.6	100.0	
建設	4.1	3.5	39.8	4.9	17.1	6.6	2.4	42.0	30.3	3.9	100.0	
保険サービス	12.5	11.7	12.6	1.8	2.4	3.4	0.9	48.4	29.7	12.4	100.0	
金融サービス	31.2	29.8	15.6	1.8	1.5	5.2	0.7	48.9	28.7	15.4	100.0	
デジタル関連サービス	20.7	18.9	21.0	3.1	4.2	5.3	4.3	52.2	39.4	8.4	100.0	
知的財産権等使用料	36.6	35.3	14.9	8.3	1.2	1.9	0.5	46.7	34.2	5.6	100.0	
通信・コンピュータ・情報サービス	12.9	10.9	21.2	1.0	4.3	4.5	7.8	59.1	48.4	6.5	100.0	
その他業務サービス	19.3	17.3	22.7	2.5	5.0	6.6	4.0	51.0	37.2	10.0	100.0	
文化・興行サービス	24.8	20.5	17.1	2.2	2.4	3.0	1.6	47.8	33.5	10.1	100.0	
コマーシャルサービス	17.2	15.6	21.9	2.6	5.0	5.5	2.7	49.9	37.2	7.4	100.0	

注. 北米: 米国・カナダ

インド太平洋: 日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州: EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料: WTO; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

国はサービス輸出では影が薄い。

世界のサービス輸出の47.2%を占めるデジタル関連サービス貿易では、米国が18.9%、インド太平洋が21.0%、欧州が52.2%（このうちEUが39.4%）と欧州が過半を制している。

各国地域の項目別サービス輸出の構成比（2021年）で、その他サービス輸出が占める比率を比較すると、米国が80.3%、インド太平洋が58.3%、欧州が65.1%と米国が伝統的なサービスの比率を低下させて、成長率の高い分野にシフトしている（表11）。日本もその他サービスの比率が70.2%と高い。中国は、財関連サービスや輸送の比率が大きく、その他サービスの比率は50.2%にとどまっている。欧州は、輸送や旅行の比率が大きく、その他サービスの比率は65.1%と米国や日本と比べて小さい。

デジタル関連サービス貿易が占める比率は、米国が57.3%、日本が56.6%、中国が39.2%、インドが75.9%、EUが50.0%、英国が53.6%とインドが

表11. 国地域別サービスの項目別輸出構成比 (2021年)

(単位：%)

	北米	米国	インド 太平洋					欧州			世界
				日本	中国	ASEAN (10)	インド	EU (27)	英国		
財関連サービス	2.8	2.7	5.4	1.9	10.3	6.4	0.9	4.3	4.7	2.5	4.4
輸送	10.3	9.8	29.1	24.1	35.2	27.8	12.5	20.1	21.6	8.5	21.3
旅行	7.7	7.3	7.3	3.9	4.4	7.0	4.4	10.5	10.7	6.9	10.8
その他サービス	79.2	80.3	58.3	70.2	50.2	58.8	82.1	65.1	63.0	82.2	63.5
建設	0.4	0.4	3.0	3.1	5.7	2.0	1.5	1.4	1.3	0.9	1.7
保険サービス	2.6	2.7	2.1	2.5	1.7	2.2	1.2	3.5	2.9	6.0	3.6
金融サービス	16.5	17.4	6.5	6.4	2.7	8.5	2.3	8.9	7.0	19.0	9.1
デジタル関連サービス	56.9	57.3	45.2	56.6	39.2	45.0	75.9	49.4	50.0	53.6	47.2
知的財産権等使用料	17.6	18.8	5.6	26.5	2.0	2.8	1.5	7.8	7.6	6.3	8.3
通信・コンピュータ・情報サービス	8.6	8.0	11.1	4.2	10.0	9.4	33.5	13.6	15.0	10.1	11.5
その他業務サービス	30.7	30.5	28.4	25.9	27.3	32.8	40.9	28.0	27.4	37.2	27.4
文化・興行サービス	2.8	2.5	1.5	1.7	0.9	1.0	1.1	1.9	1.7	2.7	1.9
コマーシャルサービス	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

デジタル関連サービス輸出の特化度を高めている。

各国地域の項目別サービス輸出成長率（2005～21年間平均）を比較すると、インド太平洋地域の中国、ASEAN、インドの成長率が高く、特にインドは9.7%の成長率を記録している（表12）。米国の成長率も5.7%と世界平均の5.3%を上回っている。世界最大のサービス輸出地域である欧州の成長率は4.9%と平均を下回り伸び悩んでいる。欧州以上にサービス輸出が伸びていない国が日本である。

サービスの項目別輸出成長率を比較すると、輸送や旅行などの伝統的なサービス貿易分野から金融サービス、デジタル貿易関連サービスに成長のけん引力が移っていることが鮮明になっているが、この成長分野で日本の輸出成長率は世界平均を下回り、伸び悩んでいる。

最後に世界のサービス輸出に占める地域国別のシェアが2005年と21年を比較してどの程度変化しているか、シェアの増減幅（%ポイント）を見ると、

表12. 国地域別・項目別サービス輸出成長率 (2005~21年)

(単位：%)

	北米		インド 太平洋	インド				欧州	EU (27)		英国	世界
	米国	カナダ		日本	中国	ASEAN (10)	インド		EU	英国		
財関連サービス	6.9	7.0	5.3	11.4	3.2	8.1	9.3	6.7	6.6	8.0	6.7	
輸送	2.1	2.1	5.7	0.8	10.4	5.9	7.8	4.3	4.7	0.0	4.6	
旅行	▲1.7	▲1.7	▲1.7	▲4.1	▲4.4	▲2.5	0.1	▲0.7	▲1.0	▲0.7	▲0.5	
その他サービス	7.7	7.9	9.7	5.8	13.2	11.1	11.5	6.6	7.2	5.3	7.4	
建設	4.2	3.8	6.5	1.5	13.0	4.8	9.1	3.3	3.0	5.0	4.6	
保険サービス	6.6	7.1	8.2	4.8	13.4	9.8	8.3	4.9	6.1	3.1	6.1	
金融サービス	9.2	9.2	10.5	6.1	18.8	12.2	10.3	5.2	6.2	4.6	6.9	
デジタル関連サービス	7.5	7.7	9.9	6.0	12.9	11.5	11.7	7.2	7.5	5.9	7.7	
知的財産権等使用料	6.5	6.5	8.0	6.2	19.8	11.1	13.0	6.4	6.6	4.6	6.5	
通信・コンピュータ・情報サービス	8.9	9.5	12.9	9.6	17.6	13.8	11.5	9.4	9.9	7.0	9.9	
その他業務サービス	7.8	8.1	9.4	5.5	11.5	11.0	11.7	6.6	6.8	5.9	7.4	
文化・興行サービス	5.6	5.3	12.6	15.5	16.8	9.7	14.5	7.5	8.5	5.6	7.9	
コマーシャルサービス	5.5	5.7	6.4	3.5	8.0	6.9	9.7	4.9	5.1	4.1	5.3	

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表13. 世界のサービス輸出に占める国地域別・項目別増減比 (2005~21年)

(単位：%ポイント)

	北米		インド 太平洋	インド				欧州	EU (27)		英国	世界
	米国	カナダ		日本	中国	ASEAN (10)	インド		EU	英国		
財関連サービス	0.1	0.1	0.0	0.0	▲0.2	0.1	0.0	0.4	0.3	0.1	0.8	
輸送	▲1.1	▲1.0	0.4	▲0.6	0.9	0.1	0.1	▲1.6	▲0.7	▲0.8	▲2.3	
旅行	▲2.7	▲2.3	▲3.2	▲0.3	▲0.8	▲0.9	▲0.1	▲8.1	▲6.6	▲0.8	▲15.9	
その他サービス	4.1	4.0	6.1	0.1	1.7	1.9	1.3	6.0	5.8	0.0	17.4	
建設	▲0.0	▲0.0	0.1	▲0.1	0.2	▲0.0	0.0	▲0.2	▲0.2	▲0.0	▲0.2	
保険サービス	0.1	0.1	0.2	▲0.0	0.1	0.1	0.0	▲0.1	0.1	▲0.2	0.4	
金融サービス	1.2	1.2	0.8	0.0	0.1	0.3	0.0	▲0.1	0.4	▲0.2	2.0	
デジタル関連サービス	2.8	2.7	4.9	0.2	1.3	1.5	1.2	6.1	5.3	0.4	14.5	
知的財産権等使用料	0.5	0.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.6	0.5	▲0.1	1.4	
通信・コンピュータ・情報サービス	0.6	0.6	1.6	0.1	0.4	0.4	0.5	3.1	2.8	0.2	5.7	
その他業務サービス	1.7	1.7	2.8	0.0	0.8	1.0	0.7	2.5	2.0	0.3	7.4	
文化・興行サービス	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	0.6	
コマーシャルサービス	0.4	0.9	3.3	▲0.8	1.7	1.2	1.3	▲3.4	▲1.2	▲1.5	-	

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表14. 世界のサービス輸入に占める国地域別・項目別増減比（2005～21年）

（単位：%ポイント）

	北米		インド 太平洋	インド				欧州			世界
	米国			日本	中国	ASEAN (10)	インド	EU (27)	英国		
財関連サービス	0.3	0.3	▲0.1	▲0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.0	0.9
輸送	▲1.2	▲1.0	0.5	▲0.8	1.0	0.3	0.2	▲1.4	▲0.5	▲0.7	▲2.2
旅行	▲2.4	▲1.9	▲3.1	▲1.2	0.4	▲0.6	0.1	▲8.7	▲5.9	▲2.0	▲15.9
その他サービス	2.6	2.3	6.1	0.6	1.7	1.7	0.5	7.0	5.1	1.0	17.2
建設	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.0	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.2
保険サービス	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	▲0.0	▲0.1	0.1	0.5
金融サービス	0.2	0.1	0.7	0.0	0.2	0.1	0.0	0.6	0.6	0.1	1.5
デジタル関連サービス	2.0	1.8	4.9	0.5	1.3	1.5	0.4	6.5	4.8	0.8	14.8
知的財産権等使用料	0.1	0.1	0.6	▲0.1	0.5	0.0	0.1	0.7	0.4	▲0.1	1.4
通信・コンピュータ・情報サービス	0.7	0.6	2.0	0.4	0.4	0.5	0.2	2.4	1.9	0.2	5.8
その他業務サービス	1.2	1.1	2.4	0.3	0.4	0.9	0.2	3.5	2.5	0.6	7.6
文化・興行サービス	0.4	0.4	0.2	▲0.0	0.1	▲0.0	0.1	0.1	▲0.0	0.1	0.6
コマーシャルサービス	▲0.7	▲0.3	3.5	▲1.4	3.0	1.5	0.8	▲2.6	▲1.0	▲1.7	-

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

欧州は3.4%ポイント減、米国は0.9%ポイント増、インド太平洋地域は3.3%ポイント増（ただし日本は0.8%ポイント減）と欧州の後退、日本の停滞ぶりが鮮明となる（表13）。

3.2 アイルランドの台頭

欧州は、サービス貿易の先進地域である。欧州のサービス貿易額は、輸出規模の大きい順で、英国、ドイツ、アイルランド、フランス、オランダとなっている（表15）。

英国は、金融保険サービス、その他業務サービスで欧州第1位、ドイツは輸送、知的財産権等使用料、フランスは旅行、アイルランドは通信・コンピュータ・情報サービスの輸出でそれぞれ欧州でトップに立っている。それぞれ比較優位が異なることで、相互に貿易を拡大させてきている。また、アイルランドやオランダ、スイスのような小国が、サービスでは輸出大国となっていることも、財の貿易と異なる点である。

欧州のサービス貿易輸出成長率は、2005～21年間で5.3%、欧州の中では

表15. 欧州主要国のサービス貿易（対世界輸出：2021年）

（単位：10億ドル）

	欧州	EU (27)						英国	スイス
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア			
財関連サービス	126	104	3	25	10	17	8	11	5
輸送	593	476	11	82	48	59	18	37	24
旅行	310	234	4	24	11	34	26	30	10
その他サービス	1,919	1,385	273	238	154	149	57	359	121
建設	41	30	1	4	3	4	1	4	2
保険サービス	103	63	15	15	2	10	3	26	11
金融サービス	263	155	20	27	10	15	8	83	23
デジタル関連サービス	1,457	1,099	233	189	134	117	43	234	83
知的財産権等使用料	229	168	29	45	37	15	5	28	32
通信・コンピュータ・情報サービス	402	329	122	37	31	20	8	44	15
その他業務サービス	826	602	82	107	66	81	30	162	37
文化・興行サービス	55	38	3	4	5	4	1	12	2
コマースサービス	2,947	2,198	292	369	222	259	109	437	160

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計
資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表16. 欧州主要国のサービス輸出成長率（2005～21年）

（単位：%）

	欧州	EU (27)						英国	スイス	世界
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア				
財関連サービス	6.7	6.6	5.2	7.4	6.1	7.9	7.8	8.0	8.3	6.7
輸送	4.3	4.7	1.9	4.5	4.6	5.0	1.5	0.0	4.6	4.6
旅行	▲0.7	▲1.0	▲1.8	▲1.2	▲0.3	▲1.7	▲1.7	▲0.7	▲0.7	▲0.5
その他サービス	6.6	7.2	11.8	6.6	5.3	5.4	3.9	5.3	5.1	7.4
建設	3.3	3.0	9.0	2.2	3.3	1.7	0.4	5.0	2.8	4.6
保険サービス	4.9	6.1	4.8	7.2	3.5	7.8	2.1	3.1	3.7	6.1
金融サービス	5.2	6.2	8.2	4.3	5.6	6.9	6.2	4.6	2.1	6.9
デジタル関連サービス	7.2	7.5	13.2	7.1	5.3	5.2	3.7	5.9	6.6	7.7
知的財産権等使用料	6.4	6.6	11.2	11.7	3.6	3.3	5.2	4.6	7.0	6.5
通信・コンピュータ・情報サービス	9.4	9.9	14.1	7.8	7.6	5.4	4.0	7.0	5.9	9.9
その他業務サービス	6.6	6.8	12.8	5.7	5.5	5.6	3.5	5.9	6.6	7.4
文化・興行サービス	7.5	8.5	11.8	7.4	7.5	4.3	6.1	5.6	4.9	7.9
コマースサービス	4.9	5.1	10.3	5.2	4.8	3.9	1.8	4.1	4.5	5.3

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計
資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表17. 世界のサービス輸出に占める欧州主要国のシェア増減（2005～21年）

（単位：%ポイント）

	欧州	EU (27)							英国 スイス		世界
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア					
財関連サービス	0.4	0.3	▲0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.8	
輸送	▲1.6	▲0.7	▲0.1	▲0.2	▲0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.8	▲0.0	▲2.3	
旅行	▲8.1	▲6.6	▲0.2	▲0.7	▲0.3	▲1.1	▲0.9	▲0.8	▲0.3	▲15.9	
その他サービス	6.0	5.8	2.9	0.7	0.0	0.0	▲0.2	0.0	▲0.1	17.4	
建設	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.2	
保険サービス	▲0.1	0.1	▲0.0	0.1	▲0.0	0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.1	0.4	
金融サービス	▲0.1	0.4	0.1	▲0.1	0.0	0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	2.0	
デジタル関連サービス	6.1	5.3	2.7	0.8	0.0	▲0.0	▲0.2	0.4	0.3	14.5	
知的財産権等使用料	0.6	0.5	0.3	0.5	▲0.2	▲0.1	▲0.0	▲0.1	0.1	1.4	
通信・コンピュータ・情報サービス	3.1	2.8	1.5	0.2	0.2	0.0	▲0.0	0.2	0.0	5.7	
その他業務サービス	2.5	2.0	0.9	0.1	0.0	0.1	▲0.2	0.3	0.1	7.4	
文化・興行サービス	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.0	0.6	
コマースサービス	▲3.4	▲1.2	2.6	▲0.0	▲0.3	▲1.1	▲1.3	▲1.5	▲0.3	-	

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

アイルランドが10.3%の高成長を遂げている（表16）。特にデジタル関連サービス貿易ではアイルランドの成長率は13%を超えている。他方で、イタリアはコロナ禍で旅行が落ち込んだことで1.8%の低成長にとどまっている。

欧州が世界最大のサービス貿易地域となっている背景には、脱工業化が進んでいる先進国型経済国の集まりであること、EUの経済統合に伴うサービスの自由化などが要因として指摘できる。欧州のサービス輸出の欧州域内依存度（域内取引比率）を見ると、欧州全体で64.3%に達しており、安定した市場基盤を持っている。デジタル関連サービス貿易で見ると、域内取引比率は64.2%と6割を維持し、イタリアに至っては72.9%と7割強が欧州市場に依存している。この中で、英国やアイルランドの比率は54%と欧州依存度が相対的に低い。また、デジタル関連サービス貿易の中でも知的財産権等使用料も、欧州域内依存度が全体で50.2%と相対的に低く、アイルランド、ドイツ、フランスでは4割台にとどまっている。

欧州のサービス輸入は、ドイツと英国の輸入額が他の欧州諸国と比べて大きい。しかし、デジタル関連サービス輸入では、アイルランドが2,320億ド

表18. 欧州主要国の域内取引比率（輸出：2021年）

（単位：％）

	欧州	EU (27)						英国	スイス
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア			
財関連サービス	76.4	79.3	50.5	74.5	81.5	70.5	88.5	63.8	58.3
輸送	59.7	62.2	45.4	53.9	69.4	48.0	72.0	45.4	44.2
旅行	72.4	79.5	47.3	78.2	82.9	74.8	80.8	36.0	64.1
その他サービス	63.6	68.1	55.1	66.6	66.2	68.7	75.5	50.5	49.7
建設	70.7	75.1	64.8	76.5	61.8	75.8	65.6	53.8	75.7
保険サービス	52.5	63.1	53.9	58.8	59.9	66.1	75.8	32.5	38.2
金融サービス	64.6	76.7	66.3	83.4	62.5	73.2	91.7	47.0	46.1
デジタル関連サービス	64.2	67.1	54.1	64.5	67.0	68.1	72.9	54.5	51.5
知的財産権等使用料	50.2	51.7	43.3	43.0	64.4	42.8	56.3	50.3	41.6
通信・コンピュータ・情報サービス	64.0	65.3	55.0	71.9	69.3	73.2	70.8	56.6	58.3
その他業務サービス	68.1	72.4	56.7	71.0	67.4	71.6	76.1	54.6	57.3
文化・興行サービス	58.7	65.6	59.6	73.3	57.8	66.0	67.1	36.7	59.3
コマーシャルサービス	64.3	68.6	54.6	65.1	68.4	64.9	77.2	49.4	50.1

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表19. 欧州主要国のサービス貿易 輸入額

（単位：10億ドル）

	欧州	EU (27)						英国	スイス
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア			
財関連サービス	126	92	8	21	12	14	5	10	18
輸送	512	410	8	93	42	45	27	36	27
旅行	288	214	4	53	16	34	15	32	14
その他サービス	1,911	1,388	265	233	163	150	74	276	168
建設	36	23	1	4	3	3	1	6	1
保険サービス	78	54	7	9	3	11	6	16	4
金融サービス	264	199	23	27	21	17	15	47	11
デジタル関連サービス	1,484	1,085	232	187	134	115	51	194	146
知的財産権等使用料	250	180	74	21	23	15	5	22	38
通信・コンピュータ・情報サービス	346	258	25	54	26	31	14	43	25
その他業務サービス	889	647	133	112	84	69	31	128	83
文化・興行サービス	49	27	1	6	3	3	1	13	6
コマーシャルサービス	2,836	2,104	285	400	233	242	121	354	227

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表20. 欧州主要国の域内取引比率（輸入：2021年）

(単位：%)

	欧州	EU (27)					英国	スイス	
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア			
財関連サービス	75.8	74.9	41.2	69.5	86.6	70.7	85.9	74.6	85.2
輸送	68.7	70.6	61.1	65.1	78.3	67.3	78.7	62.2	60.6
旅行	77.0	80.2	73.0	79.4	81.8	75.6	75.4	66.8	71.0
その他サービス	63.0	66.4	37.7	71.5	62.6	73.4	82.5	53.2	49.5
建設	76.4	79.1	87.6	87.5	65.5	61.0	75.4	78.0	73.9
保険サービス	69.3	76.3	67.4	73.0	74.2	79.6	89.3	52.0	45.8
金融サービス	63.9	70.1	51.4	75.2	60.6	73.1	90.9	40.1	56.8
デジタル関連サービス	62.1	64.8	34.9	70.8	62.4	73.4	79.7	55.8	48.1
知的財産権等使用料	44.7	47.3	20.4	68.5	44.9	75.4	76.4	50.5	23.9
通信・コンピュータ・情報サービス	73.0	75.6	57.0	72.9	71.0	77.2	84.6	67.3	59.1
その他業務サービス	62.7	65.4	38.9	70.2	64.6	71.4	78.0	52.8	55.7
文化・興行サービス	65.2	71.0	87.0	65.8	69.2	61.3	62.7	51.9	69.6
コマーシャルサービス	66.0	69.0	38.9	71.0	68.0	72.4	80.9	55.9	55.0

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表21. 世界のサービス輸入に占める欧州のシェア増減（2005～21年）

(単位：%)

	欧州	EU (27)					英国		スイス	世界
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア	英国	スイス		
財関連サービス	0.5	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	▲0.0	0.0	0.1	0.9
輸送	▲1.4	▲0.5	0.0	▲0.1	0.1	▲0.3	▲0.3	▲0.7	▲0.0	▲2.2
旅行	▲8.7	▲5.9	▲0.2	▲1.9	▲0.4	▲0.7	▲0.6	▲2.0	▲0.3	▲15.9
その他サービス	7.0	5.1	2.2	0.7	0.3	0.1	▲0.2	1.0	0.6	17.2
建設	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.2
保険サービス	▲0.0	▲0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.0	0.0	▲0.0	0.1	▲0.0	0.5
金融サービス	0.6	0.6	0.1	0.1	0.0	▲0.0	0.0	0.1	▲0.0	1.5
デジタル関連サービス	6.5	4.8	2.1	0.7	0.3	0.1	▲0.2	0.8	0.7	14.8
知的財産権等使用料	0.7	0.4	0.5	0.0	▲0.1	▲0.0	▲0.1	▲0.1	0.3	1.4
通信・コンピュータ・情報サービス	2.4	1.9	0.3	0.4	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	5.8
その他業務サービス	3.5	2.5	1.3	0.2	0.3	▲0.0	▲0.1	0.6	0.3	7.6
文化・興行サービス	0.1	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.1	0.0	0.6
コマーシャルサービス	▲2.6	▲1.0	2.0	▲1.2	0.1	▲0.8	▲1.2	▲1.7	0.4	-

注. 欧州：EU（27）、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表22. 欧州主要国のサービス輸入成長率 (2005～21年)

(単位：%)

	欧州	EU (27)						英国	スイス	世界
		アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア				
財関連サービス	6.9	6.7	8.0	6.4	9.0	6.8	3.5	5.8	8.6	6.7
輸送	4.3	4.8	5.6	5.0	6.7	3.4	2.3	0.4	4.6	4.6
旅行	▲1.2	▲0.9	▲4.0	▲1.9	▲1.0	0.2	▲2.5	▲4.4	▲0.3	▲0.5
その他サービス	6.8	6.9	9.7	6.5	6.0	5.5	4.1	6.8	6.9	7.4
建設	3.7	2.9	8.7	2.4	3.7	1.7	0.8	7.7	3.6	4.6
保険サービス	5.1	4.8	2.5	5.1	4.4	5.4	3.8	7.1	4.1	6.2
金融サービス	6.2	6.5	8.0	6.0	5.9	5.2	6.0	6.0	3.9	6.6
デジタル関連サービス	7.2	7.2	10.4	6.8	6.2	5.8	3.8	7.0	7.3	7.7
知的財産権等使用料	6.4	6.2	8.4	6.2	3.8	4.9	0.9	4.0	8.9	6.5
通信・コンピュータ・情報サービス	8.7	9.0	13.5	9.3	6.1	8.3	5.4	7.6	7.0	9.9
その他業務サービス	7.0	6.9	11.2	6.0	7.1	5.1	3.8	7.5	6.8	7.4
文化・興行サービス	5.7	4.8	7.5	4.6	3.5	4.0	2.0	7.1	6.5	7.9
コマーシャルサービス	4.9	5.1	8.9	4.2	5.4	4.1	2.4	3.7	5.9	5.3

注. 欧州：EU (27)、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計
資料：WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表23. 欧州主要国の国地域別サービス貿易収支 (2021年)

(単位：10億ドル)

相手国	国名	欧州	EU (27)						英国	スイス	世界
			アイルランド	ドイツ	オランダ	フランス	イタリア				
北米		▲82	▲96	▲95	10	▲16	5	▲0	35	▲19	▲139
	米国	▲87	▲99	▲96	10	▲16	6	▲0	32	▲19	▲159
インド太平洋		94	85	36	5	7	13	1	13	▲6	150
	日本	19	20	8	1	2	1	▲0	0	▲2	37
	中国	32	22	4	8	▲0	5	1	8	1	62
	ASEAN (10)	18	16	4	▲1	5	3	1	3	▲2	29
	シンガポール	▲2	▲0	▲6	▲0	4	0	0	▲0	▲2	▲25
	インド	▲14	▲5	1	▲2	▲3	1	▲0	▲5	▲3	▲31
欧州		22	56	49	▲43	▲6	▲7	▲13	18	▲45	▲81
	EU (27)	▲39	-	41	▲45	▲7	▲16	▲12	11	▲39	▲92
	アイルランド	▲44	▲41	-	▲12	1	▲5	▲6	2	1	▲7
	英国	▲17	▲11	▲2	▲6	▲7	1	▲2	-	▲4	▲83
	スイス	45	39	▲1	10	5	4	2	4	-	74
中南米 (その他西半球含)		19	17	2	3	1	2	1	1	▲0	8
世界		111	93	7	▲30	▲11	17	▲11	83	▲67	52

注. 欧州：EU (27)、英国、スイス、ロシアCIS、ノルウェー、トルコ、アイスランド等の合計
資料：WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

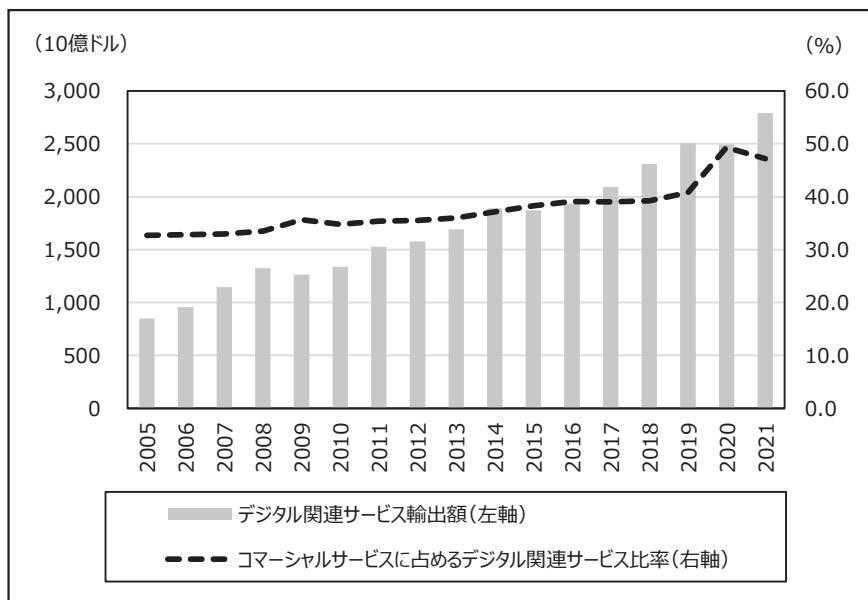
ルと欧州の中では最も大きい。次に英国の1,940億ドル、ドイツの1,870億ドルと続いている。

4. 世界のデジタル関連サービス貿易

4.1 サービス貿易（輸出）におけるデジタル関連貿易比率

世界のデジタル関連サービス貿易（知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス）は、着実に拡大してきている（図10）。輸出額は2005年の8,480億ドルが10年に1兆3,380億ドル、21年は2兆7,910億ドルに増加している。世界のサービス輸出に占めるデジタル関連サービス輸出の比率では、2005年の32.7%から10年に34.8%、19年に40.8%

図10. 世界のデジタル関連サービス輸出額とサービス輸出に占めるデジタル貿易関連サービスの比率



注. デジタル関連サービス：知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービスの合計

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

と4割を超えて、20年は49.3%に拡大、21年には47.2%に若干低下している。20年に比率が急上昇したのはコロナ禍の影響である。前述したように、新型コロナウイルスがパンデミック化したことで、移動制限や小売りと接客施設の閉鎖などが世界中で広まり、輸送や旅行などの伝統的なサービス輸出が大きく落ち込んだ一方、新型コロナウイルスを契機としてオンライン上で遠隔地にいる相手とリアルタイムで連絡を取ることや、オンラインショッピングへの需要の高まり等によりデジタル関連サービスの輸出が拡大した。

コロナ禍を契機にしてデジタル関連サービス輸出が大きく伸びた^(注2)。特に、拡大した分野は、その他業務サービスである。サービス貿易に占めるその他業務サービスの比率は、2019年の24.2%から2021年に27.4%へと3.2%ポイント増、通信・コンピュータサービス・情報サービスが同じく8.8%から11.5%と2.7%ポイント増と、それぞれ拡大している。

4.2 デジタル関連サービス貿易の国別ランキング

2021年のデジタル関連サービス輸出国は、米国が5,280億ドル、世界に占める比率で18.9%、次いで英国の2,340億ドル、8.4%、アイルランドの2,330億ドル、8.4%、ドイツの1,890億ドル、6.8%、そのあとはオランダ、インド、フランス、中国、シンガポールと続き、日本は870億ドル、3.1%と10番目に位置している（表24）。同様に輸入額でも、米国、アイルランド、英国が上位3か国を占めている。米国の輸入額が世界の12.4%を占めて最大、次にアイルランドが輸入でも2021年に世界の8.3%を占めて、英国の6.9%を突き放している。

デジタル関連貿易の特徴は、輸出入ともに上位3か国に米英アイルランドと同じ顔ぶれが並んでいることである。これら3か国で世界デジタル関連貿易の3分の1以上を占めて、大きな影響力を持っている。アングロサクソン3か国に続いて、上位10か国に入っている国は、ドイツ、フランス、オランダの欧州勢と日本、中国、シンガポール及び輸出ではインドのインド太平洋勢である（表24）。

サービス貿易に占めるデジタル関連サービス輸出の比率（デジタルサービ

表24. デジタル関連サービス貿易（上位20か国：2021年基準）

(単位：10億ドル、%)

輸出						輸入					
順位		国名	金額	構成比	コマーシャルサービスに占めるシェア (%)	順位		金額	構成比	コマーシャルサービスに占めるシェア (%)	
2021	2005					2021	2005				
1	1	米国	528	18.9	57.3	1	1	米国	346	12.4	48.2
2	2	英国	234	8.4	53.6	2	5	アイルランド	232	8.3	81.6
3	7	アイルランド	233	8.4	80.0	3	2	英国	194	6.9	54.8
4	3	ドイツ	189	6.8	51.1	4	3	ドイツ	187	6.7	46.7
5	4	オランダ	134	4.8	60.1	5	6	スイス	146	5.2	64.3
6	10	インド	119	4.3	75.9	6	4	オランダ	134	4.8	57.4
7	5	フランス	117	4.2	45.1	7	11	中国	121	4.4	33.9
8	15	中国	116	4.2	39.2	8	8	日本	116	4.1	60.3
9	16	シンガポール	100	3.6	45.8	9	7	フランス	115	4.1	47.4
10	6	日本	87	3.1	56.6	10	10	シンガポール	106	3.8	54.9
11	8	スイス	83	3.0	51.8	11	12	カナダ	61	2.2	53.2
12	12	ベルギー	60	2.1	53.6	12	14	ベルギー	60	2.2	49.6
13	11	カナダ	51	1.8	53.6	13	20	香港	54	1.9	35.5
14	14	スウェーデン	46	1.6	60.6	14	15	スウェーデン	51	1.8	62.0
15	9	イタリア	43	1.6	39.8	15	9	イタリア	51	1.8	41.9
16	13	スペイン	42	1.5	36.3	16	19	インド	46	1.6	36.1
17	17	香港	39	1.4	28.7	17	16	韓国	43	1.6	43.6
18	20	ルクセンブルグ	39	1.4	35.2	18	13	スペイン	40	1.4	47.5
19	21	韓国	33	1.2	35.7	19	23	豪州	39	1.4	51.8
20	29	ポーランド	30	1.1	39.9	20	31	ルクセンブルグ	33	1.2	28.9
		小計	2,324	83.3	39.9			小計	2,175	77.9	50.6
		世界	2,791	100.0	47.2			世界	2,790	100.0	47.6

注1. 順位は、2021年の金額基準

注2. デジタル関連サービス：知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

ス貿易比率)では、アイルランドの80.0%、インドの75.9%が高い。スウェーデンやオランダは6割を超えている。米国は57.3%、日本は56.6%と5割を超えて高い。中国や韓国、イタリア、スペインなど3割台でデジタル輸出比率は低い。同様に輸入でみると、アイルランドが81.6%と8割台を超えてい

る。次に、スイスの64.3%、日本の60.3%、スウェーデンの62.0%である。

デジタル貿易比率をより細かく、主要国間のサービス貿易取引（輸出）に占める比率でみると、デジタル比率が高い取引は、インド⇒アイルランド（95.3%）、日本⇒アイルランド（91.3%）が9割を超え、アイルランド⇒日本（89.6%）、インド⇒米国（88.9%）、アイルランド⇒インド（88.4%）、インド⇒日本（83.8%）、インド⇒英国（83.3%）、アイルランド⇒米国（81.9%）、インド⇒欧州（81.7%）が8割を超えている。いずれもアイルランドとインドが係わっている。米国の対欧州サービス輸出では71.5%がデジタル貿易関連、欧州域内では49.3%、欧州⇒米国は51.1%と半分程度に過ぎない（表25）。

デジタル関連貿易の輸出成長率は、2005～21年間でインド太平洋地域が欧州、米国を上回る高い成長を遂げている。インド太平洋地域の中では、中

表25. 世界のサービス貿易取引（輸出）に占めるデジタル関連サービス比率（2021年）

（単位：%）

輸出先 輸出国	輸出先		輸出先					輸出先					世界
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	
北米	62.6	60.5	54.3	65.2	37.7	71.9	33.8	70.9	72.6	89.2	56.4	90.1	56.9
米国	64.3	-	55.7	65.3	39.0	73.1	36.1	71.5	73.2	89.2	56.4	90.7	57.3
インド太平洋	54.7	56.4	38.5	60.8	30.0	43.6	31.8	55.4	53.6	83.8	62.7	71.8	45.2
日本	60.3	60.2	50.9	-	52.4	52.9	54.9	65.8	59.5	91.3	69.8	86.9	56.6
中国	49.2	51.8	34.3	67.4	-	36.3	26.5	48.1	49.8	82.0	53.2	65.5	39.2
ASEAN (10)	50.2	52.3	43.2	65.9	30.1	42.8	40.5	50.1	48.0	81.6	56.1	61.8	45.0
シンガポール	45.8	48.4	45.7	70.2	30.9	43.8	38.5	50.3	48.4	81.1	56.9	59.6	45.8
インド	88.6	88.9	64.9	83.8	35.9	75.2	-	81.7	81.8	95.3	83.3	91.5	75.9
欧州	55.0	55.3	51.1	63.2	46.2	50.6	47.8	49.3	48.5	73.2	54.6	56.3	49.4
EU (27)	57.3	57.4	54.8	68.9	50.3	53.3	54.0	48.9	47.5	77.1	55.1	54.9	50.0
アイルランド	82.5	81.9	81.6	89.6	81.2	79.2	88.4	79.3	79.6	-	71.2	88.3	80.0
英国	50.9	51.6	44.8	48.5	38.0	46.9	34.2	59.1	58.5	62.2	-	69.9	53.6
スイス	62.8	62.9	56.7	74.1	60.7	50.0	55.8	53.2	51.6	80.7	64.8	-	51.8
中南米（その他西半球含）	15.6	15.3	26.9	31.6	16.7	34.5	27.1	36.8	34.8	54.6	46.7	46.3	23.3
世界	49.6	49.0	43.3	60.3	33.9	48.9	36.1	52.1	51.5	81.6	54.7	64.2	47.2

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表26. 国地域別デジタル関連サービス輸出成長率 (2005～21年)

(単位：%)

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	6.2	5.5	7.7	4.0	11.1	11.5	10.4	8.0	8.5	12.8	5.8	9.0	7.5
米国	6.8	-	7.7	4.0	11.2	11.6	10.4	8.1	8.6	12.8	5.7	9.1	7.7
インド太平洋	8.4	8.3	10.9	11.2	11.0	10.7	11.7	9.4	9.0	13.8	9.5	10.9	9.9
日本	4.1	4.0	6.8	-	9.1	6.6	6.4	6.7	4.9	8.0	8.7	10.1	6.0
中国	13.0	13.1	13.4	11.2	-	18.0	16.2	11.5	10.8	16.4	12.5	13.4	12.9
ASEAN (10)	10.5	10.6	13.1	12.8	17.0	10.9	13.4	9.7	9.5	15.7	8.7	12.8	11.5
シンガポール	12.9	13.0	14.6	15.3	17.2	11.2	13.2	11.7	11.5	17.3	10.4	15.6	13.2
インド	11.9	12.0	12.6	8.8	11.8	13.5	-	11.2	11.1	16.6	12.6	9.8	11.7
欧州	7.7	7.7	9.1	7.6	12.3	7.8	9.0	6.8	6.9	7.6	6.6	6.1	7.2
EU (27)	8.1	8.1	10.1	9.3	12.6	8.5	10.2	7.1	7.3	7.3	6.5	6.0	7.5
アイルランド	16.3	16.5	15.7	15.6	14.8	13.3	14.7	11.8	11.8	-	11.3	13.8	13.2
英国	7.2	7.4	5.5	2.9	10.7	4.3	4.7	5.6	5.7	7.3	-	6.4	5.9
スイス	6.3	6.5	8.4	6.4	11.4	10.3	7.5	6.3	5.7	12.7	8.9	-	6.6
中南米 (その他西半球含)	5.4	5.3	9.9	8.3	14.5	9.5	11.3	0.8	▲0.7	0.2	9.1	7.9	4.0
世界	7.5	7.6	9.4	7.3	11.7	9.9	10.2	7.2	7.2	10.4	7.0	7.6	7.7

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

国、ASEAN、インドが10%を超えている。インド太平洋地域内の成長率も10.9%と10%を越えている。成長地域のインド太平洋に属している日本の輸出成長率は、世界平均の7.7%を下回る6.0%、対インド太平洋地域輸出成長率でも6.8%と伸び悩んでいる。2005～21年間の成長率では、インドと並んで中国、シンガポールの成長率が高い。なお、欧米ではアイルランドが10%超の成長を遂げシンガポールと同じ13.2%で伸びている。

こうした成長率格差は、世界のデジタル関連サービス貿易に占めるシェアの増減に反映されている。2005～21年間における世界のデジタル関連サービス貿易に占めるインド太平洋地域のシェアは、輸出で5.6%ポイント増、輸入では5.0ポイント増と着実に拡大している。特にインド太平洋地域内のシェアが3.3%ポイント増加している。一方、欧州は同じく輸出で4.4%ポイン

表27. デジタル関連サービス貿易マトリクス（輸出：2021年）

① デジタル関連サービス貿易の世界輸出=100とする比率

（単位：%）

輸出先	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	2.4	1.0	4.9	1.1	0.7	1.6	0.3	11.3	8.2	4.2	1.4	1.4	20.7
米国	1.4	-	4.7	1.1	0.7	1.5	0.3	10.8	7.9	4.2	1.3	1.4	18.9
インド太平洋	3.7	3.5	8.7	1.5	1.6	2.5	0.4	6.4	3.9	0.9	1.3	0.7	21.0
日本	0.8	0.7	1.1	-	0.3	0.5	0.1	0.9	0.4	0.1	0.3	0.2	3.1
中国	0.6	0.6	1.8	0.3	-	0.4	0.1	1.3	1.0	0.2	0.1	0.1	4.2
ASEAN (10)	0.6	0.6	2.8	0.8	0.4	0.7	0.2	1.5	0.9	0.4	0.3	0.2	5.3
シンガポール	0.4	0.3	2.0	0.7	0.3	0.4	0.1	1.0	0.7	0.3	0.2	0.1	3.6
インド	1.1	1.0	0.9	0.1	0.1	0.4	-	1.6	0.9	0.1	0.4	0.2	4.3
欧州	7.1	6.6	7.5	1.3	1.7	1.8	0.7	33.5	24.9	2.9	3.8	2.5	52.2
EU (27)	4.5	4.2	5.7	1.0	1.4	1.3	0.5	26.4	19.2	1.9	3.5	2.0	39.4
アイルランド	1.1	1.0	2.0	0.4	0.3	0.5	0.2	4.5	3.2	-	0.7	0.2	8.4
英国	1.9	1.8	1.1	0.2	0.2	0.3	0.1	4.6	3.9	0.7	-	0.4	8.4
スイス	0.6	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.0	1.5	1.2	0.2	0.2	-	3.0
中南米（その他西半球含）	0.5	0.5	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	1.4
世界	14.6	12.4	22.4	4.1	4.3	6.2	1.6	53.9	38.8	8.3	6.9	5.0	100.0

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

② 世界のデジタル関連サービス貿易に占める国・地域別シェアの増減（2005～21年）（単位：%）

輸出先	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	▲0.6	▲0.4	0.0	▲0.8	0.3	0.7	0.1	0.4	0.9	2.2	▲0.5	0.2	▲0.6
米国	▲0.2	-	▲0.0	▲0.8	0.3	0.6	0.1	0.5	0.9	2.2	▲0.5	0.3	▲0.0
インド太平洋	0.3	0.3	3.3	0.6	0.6	0.9	0.2	1.4	0.6	0.5	0.3	0.3	5.6
日本	▲0.6	▲0.6	▲0.2	-	0.1	▲0.1	▲0.0	▲0.1	▲0.2	0.0	0.0	0.1	▲0.9
中国	0.3	0.3	1.0	0.1	-	0.3	0.0	0.6	0.3	0.1	0.1	0.1	2.2
ASEAN (10)	0.2	0.2	1.5	0.4	0.3	0.3	0.1	0.4	0.2	0.2	0.0	0.1	2.2
シンガポール	0.2	0.2	1.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	2.0
インド	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.2	-	0.6	0.4	0.1	0.2	0.0	1.9
欧州	▲0.0	▲0.0	1.3	▲0.0	0.9	0.0	0.1	▲4.9	▲3.3	▲0.1	▲0.7	▲0.7	▲4.4
EU (27)	0.2	0.2	1.7	0.2	0.7	0.1	0.2	▲2.7	▲1.3	▲0.1	▲0.7	▲0.6	▲1.3
アイルランド	0.8	0.7	1.3	0.2	0.2	0.3	0.1	2.0	1.4	-	0.3	0.1	4.6
英国	▲0.1	▲0.1	▲0.4	▲0.2	0.1	▲0.2	▲0.1	▲1.7	▲1.4	▲0.0	-	▲0.1	▲2.6
スイス	▲0.1	▲0.1	0.0	▲0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.4	▲0.4	0.1	0.0	-	▲0.5
中南米（その他西半球含）	▲0.2	▲0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.9	▲0.9	▲0.1	0.0	0.0	▲1.1
世界	▲0.4	▲0.2	5.0	▲0.2	1.9	1.7	0.5	▲4.1	▲2.9	2.7	▲0.8	▲0.1	-

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

ト減、輸入では4.1%ポイント減と縮小している。

また、インドがデジタル関連貿易の輸出で第5位につけて、著しい成長を遂げている。世界のデジタル関連貿易の輸出に占めるインドの比率は、2005年の2.4%から21年には4.3%に拡大、サービス輸出に占めるデジタル関連の比率は、同じく57.3%から75.9%に上昇している。

世界のデジタル関連サービス貿易の主要国・地域間の動きをみると、2021年で欧州が輸出の52.2%、輸入の53.9%と世界の過半を占めている（表27）。欧州はデジタル関連サービス貿易で最も活発な地域である。欧州のうちEUが、世界のデジタル関連サービス貿易で輸出の39.4%、輸入の38.8%を占めている。

国別では世界最大のデジタル関連サービス輸出国は米国である。特に米国の対欧州輸出が世界のデジタル関連サービス輸出に占める比率で10.8%を占め、最大の輸出先となっている。欧州の中でもアイルランドへの輸出が最も大きい。

デジタル関連貿易は欧米が世界をリードしている。2021年のデジタル関連貿易に占める欧米の比率は、米国の対欧州輸出の10.8%に加えて、欧州の対米の6.6%、欧州域内が33.5%と欧米間の取引で50.9%と世界の過半を占めている。

4.3 知的財産権等使用料

サービス貿易に占める知的財産権等使用料の比率は、2021年で輸出が10.8%、輸入が8.4%。知的財産権等使用料の世界輸出は、21年で、米国が世界の35.3%を占めて抜きこんでいる。次にドイツが9.1%、日本が8.3%と上位3か国で世界の52.7%を占めている。上位20か国で、94.3%を占めて、特定国に片寄っている。ドイツの輸出は、2010年には世界第7位であったが、最近になって拡大し始めている。また、アイルランド、シンガポールの小国が、世界の知的財産権等使用料の輸出ランキングで順位を上げている（表28）。

輸入では、アイルランドが、米国を抑えて世界最大の輸入国となっている。2021年のアイルランドのシェアは15.0%、次に米国の13.1%が続き、第3位

表28. 知的財産権等使用料（上位20か国：2021年基準）

輸出						輸入					
順位 (2021金額上位順)			国名	輸出額 (10億ドル)	構成比 (%)	順位 (2021金額上位順)			国名	輸入額 (10億ドル)	構成比 (%)
2021	2010	2005				2021	2010	2005			
1	1	1	米国	173	35.3	1	2	2	アイルランド	74	15.0
2	7	7	ドイツ	45	9.1	2	1	1	米国	65	13.1
3	3	3	日本	41	8.3	3	8	11	中国	41	8.3
4	2	2	オランダ	37	7.5	4	3	6	スイス	38	7.7
5	4	5	スイス	32	6.4	5	5	3	オランダ	23	4.8
6	8	8	アイルランド	29	5.9	6	6	5	英国	22	4.5
7	5	4	英国	28	5.6	7	4	4	日本	22	4.4
8	6	6	フランス	15	3.1	8	11	7	ドイツ	21	4.2
9	14	16	シンガポール	8	1.7	9	10	9	フランス	15	3.0
10	11	11	スウェーデン	8	1.6	10	9	10	カナダ	15	3.0
11	12	17	韓国	8	1.6	11	7	8	シンガポール	13	2.7
12	16	13	カナダ	6	1.3	12	12	13	韓国	10	2.0
13	25	29	中国	6	1.2	13	22	31	インド	8	1.6
14	10	10	ルクセンブルグ	6	1.2	14	24	16	スウェーデン	8	1.5
15	15	12	イタリア	5	1.0	15	21	22	タイ	7	1.4
16	17	18	デンマーク	4	0.8	16	18	17	豪州	7	1.3
17	13	15	ベルギー	4	0.8	17	20	14	メキシコ	6	1.2
18	22	21	香港	3	0.7	18	19	20	ロシア	6	1.1
19	20	14	スペイン	3	0.6	19	16	15	スペイン	6	1.1
20	18	19	フィンランド	3	0.5	20	27	28	香港	6	1.1
			小計	462	94.3				小計	410	83.2
			世界	490	100.0				世界	492	100.0

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

は中国の8.3%である。知的財産権等使用料の輸入ランキングでは、中国は2005年に第11位、10年が第8位、21年には第3位と輸入額を拡大させている。

アイルランドの知的財産権等使用料の輸入相手先の7割は米国、2割弱がEUである。特に対米輸入依存度が高い。中国の輸入は米国、日本、EUで8割弱を占めている（表29）。

表29. 世界の知的財産権等使用料輸出に占める国・地域別シェア（2021年）

(単位：%)

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	2.4	0.6	8.7	2.0	2.0	1.7	0.7	22.8	17.1	11.3	1.2	4.0	36.6
米国	1.8	-	8.5	2.0	2.0	1.7	0.7	22.5	16.9	11.2	1.2	4.0	35.3
インド太平洋	3.6	3.4	6.4	0.6	2.8	1.6	0.4	3.9	1.6	0.5	0.9	1.0	14.9
日本	2.6	2.4	3.0	-	1.4	1.1	0.3	2.2	0.6	0.2	0.8	0.6	8.3
中国	0.2	0.2	0.5	0.1	-	0.1	0.0	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	1.2
ASEAN (10)	0.2	0.2	1.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.6	0.4	0.2	0.0	0.1	1.9
シンガポール	0.1	0.1	1.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.5	0.4	0.2	0.0	0.1	1.7
インド	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5
欧州	9.7	8.8	10.2	1.8	3.4	2.2	0.5	23.4	17.3	3.1	2.2	1.7	46.7
EU (27)	6.6	5.9	7.7	1.3	2.8	1.6	0.4	17.7	12.9	2.6	1.8	1.4	34.2
アイルランド	1.6	1.3	1.5	0.4	0.3	0.3	0.1	2.6	1.9	-	0.3	0.1	5.9
英国	1.4	1.3	1.1	0.1	0.2	0.2	0.1	2.8	2.3	0.1	-	0.2	5.6
スイス	1.6	1.5	1.4	0.3	0.4	0.4	0.1	2.7	2.0	0.4	0.4	-	6.4
中南米（その他西半球含）	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.6
世界	16.1	13.1	25.8	4.4	8.3	5.7	1.6	51.2	36.7	15.1	4.5	7.0	100.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・香港・台湾・ASEAN (10)・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

4.4 通信・コンピュータ・情報サービス

IT（情報技術）に関連したサービス取引を計上している「通信サービス」、「コンピュータサービス」、「情報サービス」の輸出は、2021年でアイルランドが1,220億ドル、世界の18.0%を占めてトップ、次に米国の740億ドル、インドの530億ドル、英国の440億ドル、ドイツの370億ドルと続いている。中国が2010年の第11位から第7位の300億ドルに順位を上げている。シンガポールも2010年の第16位から21年に第9位に上昇している。

輸入では、2021年で米国が810億ドルでトップ、次にドイツ、英国、フランス、日本、中国となっている。輸出では存在感が薄い日本は、輸入では

2010年の第9位から21年には第5位へと順位を上げている（表30）。

通信・コンピュータ・情報サービスの地域国別取引フロー（2021年）を見ると、欧州域内が世界の37.8%、米国⇒欧州が5.1%、欧州⇒米国が5.8%と欧米間で48.7%を占めている。インド太平洋域内のシェアは9.0%、このうちASEANが輸出で2.8%、輸入で2.7%と中国、インドを上回っている（表31）。

通信・コンピュータ・情報サービスの輸出成長国は、アイルランド、インド、中国、シンガポールが10%を超える高成長を遂げている。2005～21年間

表30. 通信・コンピュータ・情報サービス（上位20か国：2021年基準）

輸出				輸入							
順位 (2021金額上位順)			国名	輸出額 (10億ドル)	構成比 (%)	順位 (2021金額上位順)			輸入額 (10億ドル)	構成比 (%)	
2021	2010	2005				2021	2010	2005			
1	2	3	アイルランド	122	18.0	1	1	1	米国	81	11.9
2	1	1	米国	74	10.9	2	2	3	ドイツ	54	8.0
3	3	6	インド	53	7.8	3	3	2	英国	43	6.4
4	4	2	英国	44	6.5	4	5	5	フランス	31	4.5
5	5	4	ドイツ	37	5.5	5	9	9	日本	29	4.3
6	7	5	オランダ	31	4.5	6	17	15	中国	28	4.1
7	11	14	中国	30	4.3	7	6	4	オランダ	26	3.9
8	6	7	フランス	20	3.0	8	4	6	スイス	25	3.7
9	16	16	シンガポール	19	2.8	9	12	11	アイルランド	25	3.6
10	8	11	スウェーデン	16	2.4	10	18	18	シンガポール	23	3.4
11	200	8	スイス	15	2.2	11	25	26	香港	19	2.8
12	10	9	カナダ	14	2.0	12	11	14	アラブ首長国連邦	18	2.7
13	13	12	ベルギー	12	1.7	13	7	7	イタリア	14	2.1
14	9	13	スペイン	11	1.6	14	13	12	スウェーデン	14	2.1
15	26	31	ポーランド	9	1.3	15	15	16	インド	14	2.1
16	19	17	イスラエル	9	1.3	16	10	10	ベルギー	13	1.9
17	14	15	ルクセンブルグ	9	1.3	17	8	8	スペイン	12	1.8
18	15	21	フィンランド	8	1.2	18	16	13	カナダ	12	1.8
19	12	10	イタリア	8	1.2	19	20	21	豪州	12	1.8
20	20	24	香港	8	1.2	20	19	20	ロシア	9	1.3
			小計	548	80.5				小計	504	74.3
			世界	681	100.0				世界	679	100.0

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表31. 世界の通信・コンピュータ・情報サービス取引に占める国・地域別シェア（2021年）

（単位：％）

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	2.3	1.3	3.2	0.9	0.5	0.8	0.2	5.5	3.9	0.9	0.8	0.5	12.9
米国	1.0	-	3.0	0.8	0.5	0.8	0.2	5.1	3.6	0.8	0.8	0.5	10.9
インド太平洋	3.8	3.6	9.0	1.4	1.5	2.7	0.5	5.5	3.5	0.4	0.9	0.6	21.2
日本	0.4	0.4	0.3	-	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0
中国	0.6	0.6	2.1	0.3	-	0.5	0.1	1.1	0.7	0.2	0.1	0.1	4.3
ASEAN (10)	0.4	0.4	2.8	0.7	0.4	0.8	0.2	0.9	0.6	0.1	0.1	0.2	4.5
シンガポール	0.2	0.1	1.9	0.6	0.2	0.4	0.1	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1	2.8
インド	1.9	1.7	1.8	0.2	0.1	0.8	-	2.6	1.6	0.1	0.4	0.3	7.8
欧州	6.2	5.8	9.6	1.9	1.8	2.0	1.1	37.8	28.4	2.1	4.2	2.2	59.1
EU (27)	4.7	4.4	7.8	1.6	1.2	1.7	1.0	31.6	23.3	1.7	4.0	1.8	48.4
アイルランド	1.6	1.6	4.3	0.9	0.6	0.9	0.4	9.9	7.3	-	1.3	0.4	18.0
英国	1.1	1.0	1.1	0.1	0.4	0.2	0.1	3.7	3.2	0.2	-	0.2	6.5
スイス	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	1.3	1.1	0.0	0.1	-	2.2
中南米（その他西半球含）	0.3	0.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	1.0
世界	13.7	11.9	23.2	4.3	4.0	6.0	2.0	51.9	37.8	3.6	6.4	3.6	100.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・香港・台湾・ASEAN（10）・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

の平均輸出成長率をみると、中国が17.6%、シンガポールが16.0%、アイルランドが14.1%、インドが11.5%と拡大している。インド太平洋地域全体の輸出成長率は12.9%、輸入は14.3%、特にインド太平洋地域内の取引が15.9%で拡大している点に注目すべきであろう（表32）。

4.5 その他業務サービス

様々な事業者向けサービス取引を計上しているこの項目には、「研究開発サービス」、「専門・経営コンサルティングサービス」及び「技術・貿易関連・その他業務サービス」が含まれている。その他業務サービスの輸出国は、2021年で米国が2,810億ドル（世界のその他業務サービス輸出の17.3%）、英国が1,620億ドル（10.0%）、ドイツ1,070億ドル（6.6%）、アイル

表32. 国地域別通信・コンピュータ・情報サービス輸出の平均成長率（2005～21年）

（単位：％）

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先					世界
	北米	米国	インド 太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイル ランド	英国	スイス	
北米	6.6	5.3	13.1	13.4	16.4	15.3	10.6	8.3	9.7	19.7	5.8	4.6	8.9
米国	8.7	-	13.2	13.4	16.8	15.3	10.2	8.3	9.8	20.0	5.7	4.5	9.5
インド太平洋	10.3	10.2	15.9	14.7	18.2	16.4	17.1	11.4	12.0	17.6	10.1	9.2	12.9
日本	10.1	10.1	11.9	-	14.3	11.8	5.9	7.1	10.1	17.7	1.1	▲4.0	9.6
中国	13.4	13.3	19.7	16.2	-	25.5	24.6	16.1	15.7	27.6	16.1	11.0	17.6
ASEAN (10)	9.8	9.6	16.7	17.5	21.5	14.6	14.5	10.6	10.5	20.5	9.7	10.2	13.8
シンガポール	11.2	10.9	18.3	20.4	21.0	15.1	13.0	12.6	12.9	23.5	10.6	11.8	16.0
インド	9.9	9.7	14.8	9.9	16.6	16.3	-	11.0	11.6	14.8	11.6	8.8	11.5
欧州	9.5	9.5	13.6	13.9	15.4	12.6	11.1	8.6	8.7	11.6	7.6	7.1	9.4
EU (27)	11.1	11.1	14.7	15.9	15.4	13.4	11.6	8.9	9.2	13.9	7.7	7.2	9.9
アイルランド	23.5	23.6	20.6	18.2	18.3	20.3	17.9	11.6	11.6	-	11.1	11.8	14.1
英国	6.6	6.6	9.2	4.6	15.7	8.1	5.9	6.6	6.8	3.8	-	5.4	7.0
スイス	1.8	1.8	9.0	8.6	11.8	9.8	7.2	5.7	5.8	8.0	3.8	-	5.9
中南米（その他西半球含）	3.4	3.1	15.2	14.9	21.1	13.8	15.6	4.3	3.0	4.4	8.3	12.0	5.7
世界	8.8	8.7	14.3	14.0	16.6	14.5	12.5	8.8	9.0	13.5	7.7	7.1	9.9

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・香港・台湾・ASEAN（10）・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

ランド820億ドル（5.0％）が上位国である。この中で、アイルランドの輸出が、2005年の世界第13位から21年に4位にジャンプしている（表33）。また、中国も2005年の世界第10位から10年に第6位に上昇し、その勢いが続いている。日本の輸出は、2005年の第7位から21年で第11位の400億ドルへと順位を落としている。

2021年の輸入は、世界輸入に占めるシェアで見ると、米国が12.4％、アイルランドが8.2％、英国が7.9％、ドイツが6.9％、オランダが5.2％と上位5か国で世界の4割を占めている。これにスイス、フランスを加えると過半近くを占め、特定国に集中している。輸入でもアイルランドの成長が著しい。

2021年のその他業務サービスの地域国別取引フロー（表34）を見ると、欧米のシェアが大きい。世界に占めるシェアは、欧州域内が34.7％、米国⇒欧

表33. その他業務サービス（上位11か国：2021年基準）

輸出						輸入					
順位 (2021金額上位順)			国名	輸出額 (10億ドル)	構成比 (%)	順位 (2021金額上位順)			国名	輸入額 (10億ドル)	構成比 (%)
2021	2010	2005				2021	2010	2005			
1	1	1	米国	281	17.3	1	1	1	米国	200	12.4
2	2	2	英国	162	10.0	2	7	7	アイルランド	133	8.2
3	3	3	ドイツ	107	6.6	3	3	3	英国	128	7.9
4	12	13	アイルランド	82	5.0	4	2	2	ドイツ	112	6.9
5	4	4	フランス	81	5.0	5	6	6	オランダ	84	5.2
6	6	10	中国	81	5.0	6	4	5	スイス	83	5.1
7	13	15	シンガポール	73	4.5	7	5	4	フランス	69	4.3
8	5	5	オランダ	66	4.1	8	12	13	シンガポール	69	4.3
9	9	14	インド	64	4.0	9	8	8	日本	65	4.0
10	8	8	ベルギー	44	2.7	10	9	12	中国	53	3.3
11	7	7	日本	40	2.5	11	10	10	ベルギー	42	2.6
小計（20か国）				1,321	81.6	小計（20か国）				1,276	78.8
世界				1,620	100.0	世界				1,619	100.0

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表34. 世界のその他業務サービス輸出に占める国地域別シェア（2021年）

(単位：%)

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先					世界
	北米	米国	インド 太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイル ランド	英国	スイス	
北米	2.4	1.0	4.4	0.9	0.4	1.8	0.3	10.2	7.3	3.5	1.7	1.0	19.3
米国	1.4	-	4.2	0.9	0.4	1.8	0.2	9.7	7.0	3.5	1.5	1.0	17.3
インド太平洋	3.8	3.6	9.2	1.8	1.3	2.8	0.5	7.5	4.7	1.3	1.6	0.7	22.7
日本	0.4	0.4	0.9	-	0.1	0.5	0.0	0.8	0.5	0.1	0.2	0.1	2.5
中国	0.8	0.7	2.0	0.4	-	0.5	0.1	1.7	1.3	0.3	0.1	0.1	5.0
ASEAN (10)	0.9	0.8	3.3	1.1	0.5	0.8	0.2	2.0	1.2	0.5	0.4	0.2	6.6
シンガポール	0.5	0.5	2.3	0.9	0.3	0.4	0.1	1.4	0.9	0.5	0.3	0.2	4.5
インド	0.9	0.9	0.8	0.1	0.1	0.3	-	1.6	0.9	0.2	0.5	0.1	4.0
欧州	6.7	6.2	5.8	0.9	1.2	1.5	0.5	34.7	25.8	3.2	4.1	2.8	51.0
EU (27)	3.8	3.5	4.2	0.6	1.0	1.1	0.4	26.9	19.4	1.8	3.8	2.3	37.2
アイルランド	0.8	0.7	1.1	0.1	0.2	0.3	0.1	2.9	1.8	-	0.6	0.1	5.0
英国	2.4	2.2	1.2	0.2	0.1	0.3	0.1	5.5	4.7	1.0	-	0.5	10.0
スイス	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	1.3	1.0	0.2	0.2	-	2.3
中南米（その他西半球含）	0.7	0.7	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.6	0.4	0.1	0.1	0.1	1.8
世界	14.5	12.3	21.0	4.0	3.2	6.5	1.4	55.6	39.8	8.2	7.9	5.0	100.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表35. 国地域別その他業務サービスの平均成長率（2005～21年）

（単位：％）

輸出先 輸出国	輸出先							輸出先				世界	
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国		スイス
北米	6.7	5.4	8.6	5.1	7.3	14.7	7.6	8.1	8.6	12.7	6.8	9.1	7.8
米国	7.8	-	8.6	5.1	7.2	15.1	7.5	8.3	8.8	12.7	6.7	9.3	8.1
インド太平洋	8.8	8.8	10.0	11.0	8.8	9.8	10.7	8.9	8.4	13.8	9.5	10.8	9.4
日本	3.5	3.3	5.9	-	5.3	6.5	2.9	5.5	4.6	10.2	6.3	8.8	5.5
中国	12.5	12.7	11.5	9.7	-	16.1	13.6	10.4	9.8	14.7	12.7	12.4	11.5
ASEAN (10)	10.4	10.5	12.6	13.7	15.6	9.7	12.8	9.4	9.2	14.9	8.6	13.1	11.0
シンガポール	12.7	12.8	14.5	18.1	15.8	9.6	12.8	11.4	11.3	16.4	10.4	16.7	12.9
インド	13.5	13.8	11.1	7.9	10.0	11.5	-	11.6	10.8	16.9	14.1	10.8	11.7
欧州	7.5	7.6	7.4	5.3	9.7	7.5	7.0	6.4	6.5	9.7	7.0	5.5	6.6
EU (27)	7.6	7.7	8.5	6.5	10.1	8.5	8.2	6.6	6.7	9.8	6.9	5.3	6.8
アイルランド	16.6	16.7	12.6	13.5	12.1	11.0	9.2	12.4	12.4	-	12.3	16.3	12.8
英国	7.4	7.6	4.6	2.7	6.2	4.0	4.4	5.7	5.8	8.9	-	6.6	5.9
スイス	7.9	8.2	7.7	6.4	10.0	11.4	4.6	6.1	5.4	15.1	9.7	-	6.6
中南米（その他西半球含）	7.2	7.3	9.0	7.3	13.1	9.1	10.0	2.7	1.3	0.7	9.9	6.9	5.5
世界	7.7	7.8	8.8	7.4	9.1	10.1	8.6	7.0	6.9	11.2	7.5	7.0	7.4

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

州が9.7%、欧州⇒米国が6.2%、合計して50.6%と過半を占めている。インド太平洋域内取引のシェアは9.2%、欧州の4分の1程度である。ただし、インド太平洋域内取引の成長率は、2005～21年間で10.0%と欧州域内の6.4%を大きく上回る率で拡大している。特に、中国、シンガポール、インドの成長率が10%を超えている。成長率でこれらの国に匹敵するのはアイルランドである（表35）。

4.6 デジタル関連サービスの貿易収支

世界198か国のデジタル関連サービス貿易収支は、2021年で黒字国が54か国、赤字国は144か国と赤字国の方が多い。

最大の黒字国、米国の黒字幅は、2021年で1,820億ドル、内訳は知的財産

権等使用料が1,090億ドルの大幅黒字、その他業務サービスも800億ドルの黒字を出している。他方、通信・コンピュータ・情報サービスは70億ドルの赤字となっている。ただし、米国のサービス貿易統計では、その他業務サービスの黒字幅が知的財産権等使用料を上回り、また、通信・コンピュータ・情報サービスの収支は黒字である。

米国に次ぐ第2位の黒字国はインドである。インドの黒字幅は740億ドル、内訳はその他業務サービスが410億ドル、通信・コンピュータ・情報サービスが390億ドルとそれぞれ黒字を計上している。知的財産権等使用料は赤字である。

第3位は英国の410億ドル、その他業務サービスが340億ドルの黒字を創出している。第4位はイスラエル、第5位はフィリピン、共にその他業務サービスが黒字創出部門である。デジタル関連サービス貿易で100億ドル以上稼いでいる黒字国は、米国、インド、英国、イスラエルである。

米国に次ぐ世界第2位のデジタル関連サービス貿易の輸出大国であるアイルランドは僅か10億ドルの黒字である。その理由は、知的財産権等使用料とその他業務サービスが、対米収支で大幅赤字を計上し、通信サービスの大幅黒字が相殺されている。

表36. デジタル関連サービス貿易収支の黒字国（上位10か国：2021年）

（単位：10億ドル）

	国名	デジタル関連サービス	知的財産権等 使用料	通信・コンピュ ータ・情報サービス	その他業務 サービス
1	米国	182	109	▲7	80
2	インド	74	▲6	39	41
3	英国	41	6	1	34
4	イスラエル	15	0	4	11
5	フィリピン	9	▲1	2	8
6	ルクセンブルグ	7	1	0	5
7	ポーランド	6	▲3	1	8
8	ルーマニア	5	▲1	3	3
9	オーストリア	4	▲0	▲1	5
10	コスタリカ	3	▲0	0	3
	黒字国計（54か国）	376	80	125	171

注. 黒字国計：デジタル関連サービスの黒字国54か国を合計したもの

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

デジタル関連サービス貿易収支は、知的財産権等使用料では米国が圧倒的な黒字を計上、通信・コンピュータ・情報サービスはインド、その他業務サービスでは米国、インド、英国が主な黒字国である（表36）。

一方、デジタル関連サービス貿易で赤字を計上している国は198か国中144か国、7割強が赤字国となっている。2021年の最大の赤字国はスイスの630億ドル、次に、日本の280億ドル、サウジアラビアの240億ドル、豪州の210億ドル、香港の150億ドル、ロシアの140億ドル、タイとUAE（アラブ首長国連邦）が120億ドル、韓国とブラジルが110億ドル、カナダが100億ドルと100億ドル以上の赤字を計上している国が11か国ある。日本の赤字幅が突出しているわけではない。

スイスの赤字は、その他業務サービスの470億ドル、通信コンピュータ情報サービスの100億ドルによるものである。日本も同様にその他業務サービスで250億ドル、通信・コンピュータ・情報サービスではスイスを上回る230億ドルの赤字となっている（表37）。

2021年のデジタル関連サービスの地域国別収支を見ると、米国は対欧州、特にアイルランドに対して880億ドルの大幅黒字を計上している。インド太平洋地域では、米国の対ASEANの黒字が250億ドルと対日黒字の90億ドル

表37. デジタル貿易収支赤字国（上位10か国：2021年）

（単位：10億ドル）

	国名	デジタル関連サービス	知的財産権等 使用料	通信・コンピュ ータ・情報サービス	その他業務 サービス
1	スイス	▲63	▲6	▲10	▲47
2	日本	▲28	19	▲23	▲25
3	サウジアラビア	▲24	▲1	▲4	▲18
4	豪州	▲21	▲5	▲8	▲8
5	香港	▲15	▲2	▲10	▲2
6	ロシア	▲14	▲4	▲4	▲5
7	タイ	▲12	▲7	▲2	▲3
8	アラブ首長国連邦	▲12	0	▲13	1
9	韓国	▲11	▲2	▲1	▲7
10	ブラジル	▲11	▲3	▲5	▲2
	赤字国計（144か国）	▲375	▲82	▲124	▲170

注. 赤字国計：デジタル関連サービスの赤字国144か国を合計したもの

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表38. デジタル関連サービスの国地域別貿易収支（2021年）

（単位：10億ドル）

相手国 国名	相手国							相手国					世界
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	
北米	-	▲9	31	9	3	25	▲20	116	104	87	▲14	24	172
米国	9	-	32	9	3	25	▲19	117	104	88	▲13	24	182
インド太平洋	▲31	▲32	0	10	▲5	▲6	▲13	▲32	▲48	▲29	5	8	▲40
日本	▲9	▲9	▲10	-	1	▲8	▲1	▲11	▲15	▲8	2	2	▲28
中国	▲3	▲3	4	▲1	-	0	▲0	▲12	▲11	▲3	▲2	▲0	▲5
ASEAN (10)	▲25	▲25	6	8	▲0	-	▲6	▲10	▲12	▲3	▲0	2	▲27
シンガポール	▲24	▲24	17	12	▲0	4	▲4	1	▲1	4	1	2	▲6
インド	20	19	13	1	0	6	-	25	12	▲0	8	4	74
欧州	▲116	▲117	33	11	13	9	▲25	13	▲23	▲41	▲19	28	▲28
EU (27)	▲104	▲104	49	15	11	12	▲12	34	-	▲35	▲12	24	14
アイルランド	▲87	▲88	29	8	3	3	0	45	35	-	2	▲1	1
英国	14	13	▲4	▲2	2	0	▲8	20	12	▲2	-	3	41
スイス	▲24	▲24	▲8	▲2	0	▲2	▲4	▲27	▲24	1	▲3	-	▲63
中南米（その他西半球含）	▲14	▲13	▲4	▲1	▲1	0	▲2	▲10	▲10	▲2	▲0	0	▲29

注1. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・香港・台湾・ASEAN (10)・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

注2. デジタル関連サービス：知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

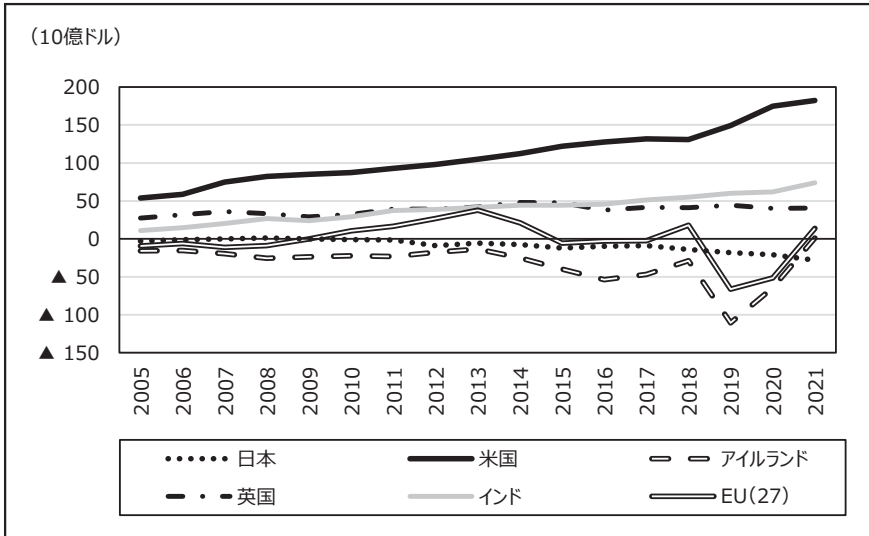
を上回っている。

インドの収支は、対米黒字が190億ドル、対欧黒字が250億ドル、対インド太平洋が130億ドルと欧米が収益源となっている（表38）。

なお、主要国のデジタル関連貿易収支の推移（図11）を見ると、米国、インド、英国は黒字基調、コロナ禍後では米国とインドが黒字幅を拡大させている。アイルランドは、赤字幅が拡大していたが2020、21年と改善している。日本は、小幅赤字で推移していたが2018年以降、赤字幅が増加する傾向にある。

項目別の収支を見ると以下の様になる。

図11. 主要国のデジタル関連サービス貿易収支の推移 (2005～21年)



注. デジタル関連サービス：知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス

資料：WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

知的財産権等使用料では、黒字幅の大きい順に、米国、ドイツ、日本、オランダが上位に来ている（表39）。この4か国は、いずれも100億ドル以上を計上しているが、米国が1,090億ドルと突出している。知的財産権等使用料で黒字を計上している国は、31か国と通信・コンピュータ・情報サービスの78か国と比べて少ない。研究開発で先進的な諸国や製造業で競争力を持った国は限られていること等が要因として指摘できる。

赤字国はアイルランド、中国、カナダ、タイ、スイス、インドと赤字国数は126か国、中でも、アイルランドと中国の赤字額が大きい。

米国の地域国別知的財産権等使用料貿易収支は、対日本と英国に対しては赤字、一方、EU、中でも対アイルランドで大幅黒字を計上している（表40）。日本は中国、ASEAN、米国で黒字を稼いでいる。

通信・コンピュータ・情報サービス収支の黒字幅は、アイルランドが980億ドルと突出し、次にインドの390億ドルが来ている（表41）。この2か国が

表39. 知的財産権等使用料の黒字国、赤字国（上位10か国：2021年）

（単位：10億ドル）

	国名	黒字国				国名	赤字国		
		貿易収支	輸出	輸入			貿易収支	輸出	輸入
1	米国	109	173	65	1	アイルランド	▲45	29	74
2	ドイツ	24	45	21	2	中国	▲35	6	41
3	日本	19	41	22	3	カナダ	▲9	6	15
4	オランダ	13	37	23	4	タイ	▲7	0	7
5	英国	6	28	22	5	スイス	▲6	32	38
6	デンマーク	2	4	2	6	インド	▲6	2	8
7	キプロス	2	2	0	7	メキシコ	▲5	1	6
8	ルクセンブルグ	1	6	5	8	シンガポール	▲5	8	13
9	フィンランド	1	3	1	9	豪州	▲5	2	7
10	バラグアイ	1	1	0	10	ロシア	▲4	1	6
	上位10か国計	177	338	161		上位10か国計	▲126	87	214
	黒字国計（31か国）	179	365	186		赤字国計（126か国）	▲181	125	307

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表40. 知的財産権等使用料の国地域別貿易収支（2021年）

（単位：10億ドル）

相手国 国名	北米		インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	シンガポール	インド	欧州				世界	
	米国								EU (27)	アイルランド	英国	スイス		
北米	-	▲6	25	▲3	9	8	5	2	65	52	48	▲1	12	100
米国	6	-	25	▲2	9	8	5	2	67	54	49	▲0	12	109
インド太平洋	▲25	▲25	-	▲12	11	3	▲4	2	▲31	▲29	▲5	▲1	▲2	▲54
日本	3	2	12	-	6	4	▲0	1	2	▲3	▲1	3	2	19
中国	▲9	▲9	▲11	▲6	-	▲1	▲1	0	▲15	▲13	▲1	▲1	▲1	▲35
ASEAN (10)	▲8	▲8	▲3	▲4	1	-	▲1	0	▲8	▲6	▲1	▲1	▲1	▲19
シンガポール	▲5	▲5	4	0	1	1	-	0	▲4	▲3	0	▲1	▲1	▲5
インド	▲2	▲2	▲2	▲1	▲0	▲0	▲0	-	▲2	▲2	▲0	▲0	▲0	▲6
欧州	▲64	▲67	31	▲2	15	8	4	2	4	2	3	▲3	▲4	▲21
EU (27)	▲51	▲54	30	3	13	6	3	2	1	-	3	▲3	▲3	▲13
アイルランド	▲48	▲49	5	1	1	1	▲0	0	▲3	▲3	-	1	▲2	▲45
英国	1	0	1	▲3	1	1	1	0	3	3	▲1	-	▲1	6
スイス	▲12	▲12	2	▲2	1	1	1	0	4	3	2	1	-	▲6

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU（27）・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、バハマ、パプーダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表41. 通信・コンピュータ・情報サービスの黒字国、赤字国（上位10か国：2021年）

（単位：10億ドル）

	国名	黒字国				国名	赤字国		
		貿易収支	輸出	輸入			貿易収支	輸出	輸入
1	アイルランド	98	122	25	1	日本	▲23	7	29
2	インド	39	53	14	2	ドイツ	▲17	37	54
3	オランダ	4	31	26	3	アラブ首長国連邦	▲13	5	18
4	イスラエル	4	9	5	4	香港	▲10	8	19
5	ルーマニア	3	6	3	5	フランス	▲10	20	31
6	フィリピン	2	5	2	6	スイス	▲10	15	25
7	フィンランド	2	8	6	7	豪州	▲8	4	12
8	スウェーデン	2	16	14	8	米国	▲7	74	81
9	中国	2	30	28	9	イタリア	▲6	8	14
10	ポーランド	1	9	7	10	ノルウェー	▲6	3	8
	上位10か国計	158	288	131		上位10か国計	▲111	181	292
	黒字国計（78か国）	178	398	221		赤字国計（118か国）	▲176	282	458

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表42. 通信・コンピュータ・情報サービスの国地域別貿易収支（2021年）

（単位：10億ドル）

相手国 国名	北米		インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	シンガポール	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	世界
	北米	米国	インド太平洋	日本	中国	ASEAN (10)	シンガポール	インド	欧州	EU (27)	アイルランド	英国	スイス	世界
北米	-	2	▲4	3	▲1	3	3	▲11	▲5	▲5	▲5	▲2	2	▲6
米国	▲2	-	▲4	3	▲1	3	3	▲10	▲6	▲5	▲5	▲2	2	▲7
インド太平洋	4	4	▲0	7	▲4	▲0	▲3	▲9	▲28	▲29	▲26	▲2	2	▲14
日本	▲3	▲3	▲7	-	▲2	▲4	▲3	▲1	▲11	▲10	▲6	▲1	▲0	▲23
中国	1	1	4	2	-	0	1	▲0	▲5	▲4	▲3	▲2	▲0	2
ASEAN (10)	▲3	▲3	0	4	▲0	-	▲1	▲4	▲8	▲8	▲6	▲1	1	▲10
シンガポール	▲3	▲3	3	3	▲1	1	-	▲3	▲4	▲4	▲2	▲1	1	▲5
インド	11	10	9	1	0	4	3	-	10	5	▲2	2	2	39
欧州	5	5	28	11	5	8	4	▲10	5	▲16	▲51	4	6	57
EU (27)	5	5	29	10	4	8	4	▲5	20	-	▲38	6	5	71
アイルランド	5	5	26	6	3	6	2	2	53	38	-	7	2	98
英国	2	2	2	1	2	1	1	▲2	▲4	▲6	▲7	-	1	1
スイス	▲2	▲2	▲2	0	0	▲1	▲1	▲2	▲6	▲5	▲2	▲1	-	▲10

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表43. その他業務サービスの黒字国、赤字国（上位10か国：2021年）

(単位：10億ドル)

	国名	黒字国				国名	赤字国		
		貿易収支	輸出	輸入			貿易収支	輸出	輸入
1	米国	80	281	200	1	アイルランド	▲52	82	133
2	インド	41	64	24	2	スイス	▲47	37	83
3	英国	34	162	128	3	日本	▲25	40	65
4	中国	28	81	53	4	サウジアラビア	▲18	2	20
5	フランス	12	81	69	5	オランダ	▲18	66	84
6	イスラエル	11	19	8	6	豪州	▲8	12	20
7	フィリピン	8	12	4	7	スウェーデン	▲7	21	29
8	ポーランド	8	20	12	8	韓国	▲7	19	26
9	スペイン	6	29	22	9	カタール	▲6	0	6
10	ルクセンブルグ	5	25	20	10	デンマーク	▲5	13	17
	上位10か国計	233	774	541		上位10か国計	▲193	292	484
	黒字国計（67か国）	268	1,027	759		赤字国計（130か国）	▲267	593	860

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

世界の2大黒字国である。赤字国は118か国ある。日本の赤字が230億ドルとトップ、次にドイツの170億ドル、UAEが130億ドル、香港、フランス、スイスがいずれも100億ドルとなっている。米国も70億ドルの赤字となっている。日本の赤字幅が突出して大きいわけではない。

通信・コンピュータ・情報サービスでは、知的財産権等使用料と比べて黒字国の数が多い。割安な賃金を利用して欧米の多国籍企業が様々なインターネットなどを利用したサービスを行っている。特に英語圏に属するインドやフィリピンでは、こうしたサービスに強みを持っている。

通信・コンピュータ・情報サービスの地域国別貿易収支は、2021年で日本の赤字は、主にアイルランド、シンガポール、米国、中国によるものである。欧州は黒字となっているが、大半はアイルランドが稼いでいる。インドは対米と対欧州でそれぞれ100億ドルの黒字を計上している（表42）。

その他業務サービスは、米国、インド、英国、中国の黒字幅が大きい。フランス、イスラエルの黒字幅も100億ドルを超えている。赤字国（130か国）はアイルランドが520億ドル、スイスが470億ドル、日本が250億ドル、サウジアラビアとオランダがともに180億ドルとアイルランドとスイスが大幅赤

表44. その他業務サービスの国地域別貿易収支（2021年）

（単位：10億ドル）

相手国 国名	北米		インド 太平洋	EU			シンガ ポール	インド	欧州				世界	
	米国	カナダ		EU (27)	EU (27)	EU (27)			EU (27)	EU (27)	EU (27)	EU (27)		
北米	-	▲5	10	8	▲5	15	16	▲11	57	57	44	▲11	10	77
米国	5	-	10	8	▲5	15	16	▲10	56	56	45	▲11	10	80
インド太平洋	▲10	▲10	0	15	▲11	▲8	▲11	▲6	26	10	2	7	7	28
日本	▲8	▲8	▲15	-	▲4	▲9	▲8	▲1	▲2	▲2	▲1	▲0	1	▲25
中国	5	5	12	4	-	1	1	▲0	8	5	1	1	1	28
ASEAN (10)	▲15	▲15	9	9	▲1	-	▲2	▲2	6	2	4	1	3	2
シンガポール	▲16	▲16	11	8	▲1	2	-	▲1	9	5	6	2	2	4
インド	11	10	6	1	0	2	1	-	17	9	2	6	2	41
欧州	▲57	▲56	▲26	2	▲8	▲6	▲9	▲17	5	▲8	7	▲21	25	▲64
EU (27)	▲57	▲56	▲10	2	▲5	▲2	▲5	▲9	13	-	0	▲16	21	▲45
アイルランド	▲44	▲45	▲2	1	▲1	▲4	▲6	▲2	▲6	▲0	-	▲6	▲1	▲52
英国	11	11	▲7	0	▲1	▲1	▲2	▲6	21	16	6	-	3	34
スイス	▲10	▲10	▲7	▲1	▲1	▲3	▲2	▲2	▲25	▲21	1	▲3	-	▲47

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI1作成

字を計上している（表43）。

日本はその他業務サービス貿易で大幅赤字を計上しているが、赤字の過半はインド太平洋地域である。とりわけシンガポールに対して80億ドルの赤字を計上している。他方で、シンガポールの黒字は、日本とアイルランドが主な黒字源となっている（表44）。

4.7 日本のデジタル関連サービス貿易赤字

日本の国際収支データによれば、知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービスを合計した2021年の収支は、ドル換算して236億ドルの赤字となる（表45）。WTOデータの282億ドルと比べて赤字幅が小さい。

また、日本銀行は、デジタル貿易の項目を、著作権等使用料、通信・コン

表45. 日本の国際収支統計によるデジタル関連貿易収支

(単位: 億ドル)

	2019			2020			2021			2022		
	ネット	受取	支払	ネット	受取	支払	ネット	受取	支払	ネット	受取	支払
知的財産権等使用料	204	471	268	148	433	286	186	483	297	180	459	280
産業財産権等使用料	314	416	102	282	380	97	316	417	101	304	399	95
著作権等使用料	▲110	55	166	▲135	54	188	▲130	66	196	▲124	61	185
通信・コンピュータ・情報サービス	▲148	75	223	▲124	102	226	▲155	105	260	▲114	112	226
通信サービス	▲1	16	18	▲6	11	17	▲8	7	16	▲5	9	14
コンピュータサービス	▲135	55	190	▲110	88	197	▲135	95	230	▲99	101	200
情報サービス	▲12	3	15	▲8	3	12	▲11	3	14	▲10	2	12
その他業務サービス	▲278	467	745	▲266	454	720	▲267	490	757	▲332	454	785
研究開発サービス	▲108	82	189	▲115	73	188	▲105	85	189	▲132	60	192
専門・経営コンサルティングサービス	▲103	80	183	▲101	87	188	▲114	103	217	▲123	101	224
技術・貿易関連・その他業務サービス	▲68	305	373	▲51	293	344	▲49	302	350	▲76	292	368
デジタル貿易	▲361	210	572	▲359	243	602	▲398	274	673	▲361	274	635
デジタル関連	▲223	1,013	1,236	▲242	989	1,231	▲236	1,077	1,313	▲266	1,025	1,291
参考: デジタル関連 (WTOデータ)	▲183	835	1,018	▲210	824	1,034	▲282	874	1,155	n.a.	n.a.	n.a.

注1. 原資料の1～12月を足しあげて作成

注2. ドル換算レート (期中平均): 2021年 109.75、2022年 131.50

注3. デジタル貿易: 著作権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、専門・経営コンサルティングサービス

デジタル関連: 知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス
資料: 日本銀行; 国際収支統計 (6版基準) よりITI作成

ピュータ・情報サービス、専門経営コンサルティングサービスに限定しており、これらの項目を合計すると日本のデジタル関連貿易収支の赤字幅は398億ドルと膨らむ。日本は知的財産権等使用料の中の産業財産権等使用料の黒字額が大きいためである。

なお、WTOデータでは、日本の項目別地域国別サービス貿易収支が試算できる (表46)。デジタル関連サービス全体では、日本の赤字幅282億ドルの内訳は、対EUが154億ドル (うちアイルランドが75億ドル)、対シンガポールが119億ドル、対米が93億ドルとシンガポール、EUが対米赤字幅を上回っている。

個別項目で見ると、知的財産権等使用料は、対中国、対ASEAN、対英国、対米、対インドで黒字、特に対中黒字が最大となっている。通信・コン

表46. 日本のデジタル関連サービス貿易収支（WTOデータ）

（単位：億ドル）

相手国	デジタル 関連サービス		知的財産権等 使用料		通信・コンピュータ・ 情報サービス		その他業務 サービス	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
北米	▲81.0	▲88.0	33.0	27.0	▲34.0	▲33.0	▲81.0	▲82.0
米国	▲85.0	▲93.0	28.0	20.0	▲32.0	▲32.0	▲80.0	▲82.0
インド太平洋	▲71.0	▲97.0	96.0	121.0	▲70.0	▲70.0	▲97.0	▲148.0
中国	5.0	5.0	51.0	63.0	▲17.0	▲19.0	▲29.0	▲38.0
ASEAN (10)	▲57.0	▲83.0	30.0	42.0	▲38.0	▲36.0	▲48.0	▲90.0
シンガポール	▲83.0	▲119.0	▲6.0	▲5.0	▲35.0	▲33.0	▲41.0	▲82.0
インド	▲11.0	▲12.0	10.0	13.0	▲11.0	▲12.0	▲10.0	▲12.0
欧州	▲76.0	▲109.0	25.0	23.0	▲89.0	▲113.0	▲12.0	▲19.0
EU (27)	▲133.0	▲154.0	▲36.0	▲32.0	▲78.0	▲101.0	▲19.0	▲21.0
アイルランド	▲65.0	▲75.0	▲9.0	▲9.0	▲45.0	▲60.0	▲11.0	▲6.0
英国	32.0	22.0	38.0	32.0	▲7.0	▲6.0	2.0	▲3.0
世界	▲210.0	▲282.0	170.0	191.0	▲198.0	▲225.0	▲181.0	▲247.0

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

ピュータ・情報サービス収支の赤字幅は、2021年に225億ドルと2005年の21億ドルの赤字と比べて10倍以上に膨らんでいる。赤字の国別内訳は、対アイルランドの60億ドル、対シンガポールの33億ドル、対米の32億ドルが上位3か国である。

その他業務サービスの赤字幅も拡大傾向にある。2021年の赤字額は247億ドル、内訳は、対米、対シンガポールがともに82億ドル、対中が38億ドルの赤字となっている。2021年は対シンガポール赤字が膨らんでいる。

日本のデジタル関連サービス貿易収支の赤字幅は拡大基調にあるが、赤字先は米国に加えてシンガポール、アイルランドとの赤字が拡大している。

ドイツのデジタル貿易関連サービスは、知財権使用料が黒字、通信・コンピュータ・情報サービスとその他業務サービスが赤字という日本と似た構造になっている。通信・コンピュータ・情報サービスの赤字先も米国と欧州域

表47. ドイツのデジタル関連サービス貿易収支

(単位：10億ドル)

相手国	デジタル 関連サービス		知的財産権等 使用料		通信・コンピュータ・ 情報サービス		その他業務 サービス	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
北米	▲1.1	3.6	3.6	5.9	▲2.8	▲2.5	▲1.9	0.3
米国	▲0.8	3.8	3.4	5.7	▲2.5	▲2.4	▲1.7	0.5
インド太平洋	5.4	5.4	7.4	9.5	▲1.1	▲1.6	▲0.9	▲2.5
日本	1.8	1.8	1.1	1.0	▲0.1	▲0.1	0.8	0.9
中国	5.1	5.2	4.3	5.4	0.3	0.3	0.5	▲0.6
ASEAN (10)	0.2	0.3	0.7	1.2	▲0.1	▲0.1	▲0.4	▲0.8
シンガポール	0.1	0.0	0.2	0.3	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.2
インド	▲2.8	▲3.1	0.4	0.6	▲1.2	▲1.7	▲2.0	▲2.1
欧州	▲4.3	▲10.2	2.6	5.1	▲9.4	▲12.8	2.5	▲2.5
EU (27)	▲7.9	▲12.6	1.3	3.1	▲8.6	▲11.2	▲0.6	▲4.4
アイルランド	▲9.7	▲11.3	▲3.4	▲3.9	▲7.7	▲8.8	1.4	1.4
英国	▲3.6	▲4.9	▲1.2	▲1.1	▲1.4	▲1.8	▲0.9	▲2.1
世界	2.0	2.3	15.8	24.1	▲14.0	▲17.0	0.1	▲4.8

注. 北米：米国・カナダ

インド太平洋：日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州：EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米（その他西半球含）：メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料：WTO；Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

内、特にアイルランドという点も似ている。その他業務サービスでは、ドイツの赤字幅は日本と比べて小さい。日本よりドイツの方が、その他業務サービスの輸出が活発であるためである。また、ドイツは、日本とアイルランドに対しては黒字を計上している（表47）。

4.8 米国のデジタル関連サービス貿易黒字

米国のデジタル関連サービス貿易では、2021年に1,823億ドルの黒字を計上している。黒字を計上している項目は、知的財産権等使用料とその他業務サービスである（表48）。通信・コンピュータ・情報サービスは小幅赤字である。国地域別の収支では、2021年に欧州で6割強を稼ぎ、インド太平洋で2割弱となっている。国別では、アイルランドとシンガポールの2か国で黒字の61.7%を占めている。この2か国と比べれば、対日黒字幅は5.1%と極めて

表48. 米国のデジタル関連サービス貿易収支

(単位: 10億ドル)

相手国	デジタル 関連サービス		知的財産権等 使用料		通信・コンピュータ・ 情報サービス		その他業務 サービス	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
北米	7.3	9.4	4.9	5.9	▲2.0	▲1.8	4.4	5.3
インド太平洋	33.3	31.9	21.9	25.3	▲2.4	▲3.9	13.8	10.5
日本	8.5	9.3	▲2.8	▲2.0	3.2	3.2	8.0	8.2
中国	3.9	2.9	7.9	8.8	▲0.3	▲0.8	▲3.7	▲5.1
ASEAN (10)	25.4	25.2	6.2	7.5	2.6	2.8	16.5	14.9
シンガポール	23.8	23.9	3.8	4.9	2.8	3.0	17.2	16.0
インド	▲17.4	▲18.9	1.7	1.9	▲10.1	▲10.5	▲9.1	▲10.3
欧州	109.7	117.3	47.8	67.1	▲3.1	▲5.7	65.0	55.8
EU (27)	93.4	104.4	35.2	53.5	▲3.3	▲5.3	61.5	56.2
アイルランド	74.3	88.4	30.0	48.9	▲4.9	▲5.1	49.3	44.6
英国	▲8.5	▲13.2	▲1.0	▲0.4	▲1.5	▲1.6	▲6.0	▲11.3
世界	174.6	182.3	85.1	108.6	▲2.9	▲6.8	92.4	80.5

注. 北米: 米国・カナダ

インド太平洋: 日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州: EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米 (その他西半球含): メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料: WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

表49. アイルランドのデジタル関連サービス貿易収支

(単位: 10億ドル)

相手国	デジタル 関連サービス		知的財産権等 使用料		通信・コンピュータ・ 情報サービス		その他業務 サービス	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
北米	▲73.5	▲87.3	▲29.1	▲47.8	4.8	4.9	▲49.2	▲44.5
米国	▲74.3	▲88.4	▲30.0	▲48.9	4.9	5.1	▲49.3	▲44.6
インド太平洋	13.7	28.6	4.2	4.8	13.9	26.3	▲4.3	▲2.5
日本	6.5	7.5	0.9	0.9	4.5	6.0	1.1	0.6
中国	2.1	3.1	0.8	1.1	1.2	2.7	0.2	▲0.8
ASEAN (10)	▲2.9	2.8	0.7	0.8	3.5	5.6	▲7.1	▲3.6
シンガポール	▲6.3	▲4.5	0.1	▲0.3	2.3	2.3	▲8.7	▲6.4
インド	0.7	0.2	0.1	0.2	1.4	2.1	▲0.8	▲2.1
欧州	33.2	45.2	4.3	▲2.5	45.1	53.2	▲16.2	▲5.5
EU (27)	27.9	34.7	3.8	▲3.2	31.4	38.2	▲7.2	▲0.3
英国	▲1.6	1.6	0.9	0.8	7.3	7.3	▲9.7	▲6.5
世界	▲64.7	0.9	▲38.7	▲45.1	69.3	97.6	▲95.3	▲51.6

注. 北米: 米国・カナダ

インド太平洋: 日本・中国・韓国・台湾・香港・ASEAN・豪州・ニュージーランド・SAFTA

欧州: EU (27)・英国・スイス・ロシアCIS・トルコ・ノルウェー・アイスランド等

中南米 (その他西半球含): メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、バミューダ、ケイマン諸島、ドミニカ共和国

資料: WTO ; Balanced International Trade in Services EBOPS 2010よりITI作成

小さい。

アイルランドのデジタル関連サービス貿易収支は、2021年で対米が884億ドルの赤字に対して対欧州が452億ドルの黒字、対インド太平洋が286億ドルの黒字を計上している。欧州とインド太平洋では、通信・コンピュータ・情報サービスやその他業務サービスの輸出で稼ぎ、米国には知的財産権等使用料を支払っている姿が浮かび上がる。アイルランドには、米系IT企業が進出しており、実態は米系企業による取引と思われる（表49）。

5. 終わりに～米国のサービス貿易構造

5.1 米国のサービス国際取引とデジタル貿易

米国BEA（米商務省経済分析局）は、サービスの国際取引^(注3)として、米国企業が米国内から海外に輸出している取引額と在外米企業が海外市場で販売している取引額を集計している（表50）。

表50. 米国のサービスの国際取引

(単位：100万ドル)

	2000	2021	2022
①米国内企業の供給	711,493	2,609,146	n.a.
②米国内からの輸出	298,023	657,436	n.a.
③輸出（在外米系企業を含む）	298,023	801,143	928,530
④在外米系企業の輸出	n.a.	143,707	n.a.
⑤在外米企業の供給	413,470	1,951,710	n.a.
⑥外資系企業からの調達	565,316	1,520,455	n.a.
⑦海外からの輸入	220,927	198,203	n.a.
⑧輸入（在外米系企業を含む）	220,927	559,205	696,707
⑨在外米系企業の輸入	n.a.	361,002	n.a.
⑩在外米系企業の調達	344,389	1,322,252	n.a.
①-⑥	146,177	1,088,691	n.a.
②-⑦	77,096	459,233	n.a.
③-⑧	77,096	241,938	231,823
④-⑨	n.a.	▲217,295	n.a.
⑤-⑩	69,081	629,458	n.a.

資料：BEA；Services Supplied to Foreign and U.S. Persons Through Trade and Through Affiliates（A）（1986-2022）よりITI作成

米企業が海外市場で販売しているサービス額は、2021年で2兆6,091億4,600万ドル。このうち、米国内からの輸出額が6,574億3,600万ドル（在米外資系の輸出を含めると8,011億4,300万ドル）、在外米系企業の販売額が1兆9,517億1,000万ドルと海外展開している米多国籍企業によるサービス販売が輸出の約3倍の規模に達している。

同様に輸入は、海外からの輸入額が1,982億300万ドル（在外米系企業を含めると5,592億500万ドル）、在米外資系企業の販売額が1兆3,222億5,200万ドル、合計して1兆5,204億5,500万ドルとこれも米市場で展開している外資系企業の販売が輸入の6.6倍に達している。

輸出・供給から輸入・調達を差し引いた収支については、輸出－輸入は、2021年に4,592億ドルの黒字、供給－調達は6,294億ドルの黒字となっている。

米国のサービス国際取引は、WTOのGATSの四つのモードに基づいている。第1モードはサービスの越境取引、自国のサービス事業者が、自国に居ながらにして、外国にいる顧客にサービスを提供するケースである。（例：自国のインターネットサービスを外国の個人が利用する。）第2モードは、旅行のような国外消費であり、自国のサービス事業者が、自国にやってきた外国の顧客に対しサービスを提供する。（例：自国で外国の船や飛行機の修理、国境を越えた財貨の加工（加工用財貨）も含まれる。）第3モードは、商業拠点の越境である。自国のサービス事業者が、外国に支店・現地法人などの拠点を設立し、その拠点からサービスの供給を行う場合である。第4モードは、自然人の越境である。自国のサービス事業者が、自らの社員や専門家を外国に派遣して、外国にいる顧客にサービスを提供する場合等である。サービス貿易は輸出よりは直接投資による海外市場での現地販売の規模が大きい。

米国のサービスの国際取引は、モード別にみると、貿易でモード1、モード2、モード4が大半を占めている。直接投資を通じて海外の子会社が現地販売を行うモード3は、サービスの国際取引の中で、金額的に最も大きく（図12、図13）、サービス取引は直接投資による現地市場進出等の取引が拡大している。

図12. 米国のサービス輸出（供給）

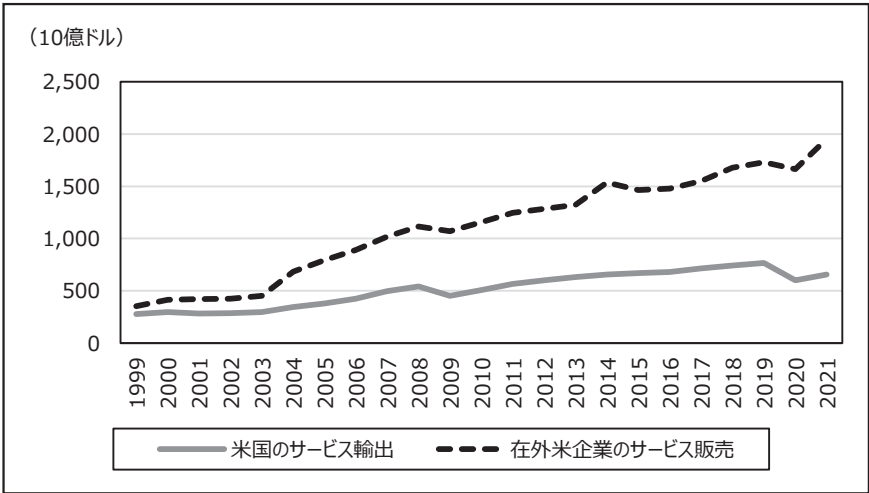
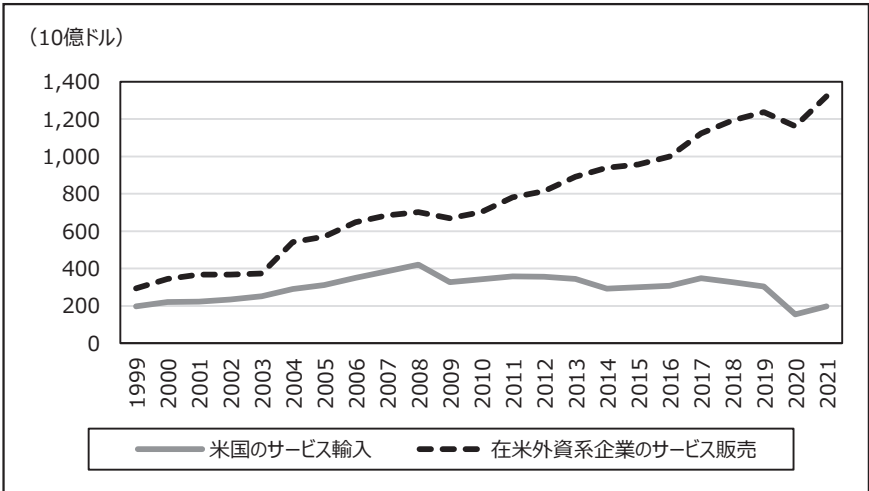


図13. 米国のサービス輸入（調達）



資料：BEA；Services Supplied to Foreign and U.S. Persons Through Trade and Through Affiliates (A) (1986-2022) よりITI作成

表51. 米国の項目別サービス貿易・貿易収支 (2010・2022年)

(単位: 10億ドル)

	輸出		輸入		貿易収支	
	2010	2022	2010	2022	2010	2022
輸送	76	91	88	158	▲12	▲67
旅行 (教育を含むすべての目的)	130	137	85	115	45	22
建設	3	2	3	1	0	1
保険サービス	15	23	63	60	▲49	▲37
金融サービス	87	168	27	58	59	110
知的財産権等使用料	95	127	31	53	64	74
フランチャイズ及び商標のライセンス料	19	26	5	7	15	19
商標	14	20	5	7	10	13
フランチャイズ料金	5	6	0	0	5	6
研究開発成果の利用許諾	38	60	19	29	18	31
コンピュータソフトウェアを複製および/または配布するためのライセンス	36	38	5	14	31	24
視覚製品の複製および/または配布のライセンス	2	4	2	4	0	0
通信・コンピュータ・情報サービス	27	66	29	54	▲3	13
通信サービス	11	8	8	6	3	2
コンピュータサービス	10	47	20	43	▲10	4
コンピュータソフトウェア (エンドユーザーライセンスおよびカスタマイズを含む)	5	31	8	11	▲3	20
クラウド コンピューティングおよびデータ ストレージ サービス	0	7	0	1	0	7
その他のコンピュータサービス	4	9	12	31	▲7	▲22
情報サービス	6	11	2	5	4	6
データベースおよびその他の情報サービス	5	10	2	5	4	6
その他業務サービス	100	245	66	138	34	107
研究開発サービス	22	58	23	34	▲0	24
その他の研究開発サービス	15	44	10	24	5	19
専門的および経営コンサルティングサービス	49	144	29	67	19	77
法務、会計、経営コンサルティング、広報サービス	42	121	26	61	16	60
技術、貿易関連等ビジネス サービス	29	44	14	38	15	6
個人的、文化的、レクリエーションサービス	18	27	5	30	12	▲3
デジタル貿易 小計	113	252	66	138	48	113
サービス計	582	929	436	697	146	232

注. デジタル貿易: コンピュータ ソフトウェアを複製および/または配布するためのライセンス、視覚製品の複製及び/または配布のライセンス、通信・コンピュータ・情報サービス、専門的及び経営コンサルティングサービスの合計

資料: BEA ; U.S. Trade in Services, by Type of ServiceよりITI作成

5.2 米国のデジタル貿易

米国のサービス貿易は、2022年で輸出額が9,285億ドル、輸入額は6,967億ドル、収支は2,320億ドルの黒字となっている (表51)。

表52. 米国のサービス貿易の項目別シェア、成長率（2010～22年）

(単位：%)

	構成比				2010-22 平均伸び (%)	
	輸出		輸入		輸出	輸入
	2010	2022	2010	2022		
輸送	13.1	9.8	20.3	22.6	1.5	4.9
旅行（教育を含むすべての目的）	22.4	14.7	19.5	16.6	0.4	2.6
建設	0.5	0.2	0.6	0.1	▲4.7	▲7.6
保険サービス	2.6	2.4	14.5	8.5	3.6	▲0.5
金融サービス	14.9	18.1	6.2	8.3	5.7	6.5
知的財産権等使用料	16.3	13.7	7.1	7.6	2.5	4.6
フランチャイズ及び商標のライセンス料	3.3	2.8	1.1	1.0	2.5	3.1
商標	2.5	2.1	1.1	0.9	2.7	3.0
フランチャイズ料金	0.8	0.7	0.0	0.0	1.8	4.0
研究開発成果の利用許諾	6.5	6.4	4.4	4.1	3.9	3.3
コンピュータソフトウェアを複製および/または配布するためのライセンス	6.2	4.1	1.2	2.0	0.4	8.7
視聴覚製品の複製および/または配布のライセンス	0.4	0.4	0.4	0.5	5.2	6.5
通信・コンピュータ・情報サービス	4.6	7.1	6.7	7.7	7.9	5.1
通信サービス	1.9	0.9	1.9	0.8	▲2.5	▲2.6
コンピュータサービス	1.7	5.1	4.5	6.2	13.7	6.7
コンピュータソフトウェア（エンドユーザーライセンスおよびカスタマイズを含む）	0.9	3.4	1.8	1.7	15.7	3.2
クラウドコンピューティングおよびデータストレージサービス	0.1	0.8	0.0	0.1	27.6	8.7
その他のコンピュータサービス	0.7	1.0	2.6	4.4	6.2	8.6
情報サービス	0.9	1.2	0.4	0.7	5.7	9.0
データベースおよびその他の情報サービス	0.9	1.1	0.4	0.7	6.1	9.1
その他業務サービス	17.1	26.4	15.1	19.8	7.8	6.4
研究開発サービス	3.8	6.2	5.2	4.8	8.3	3.4
その他の研究開発サービス	2.6	4.7	2.2	3.5	9.4	8.1
専門的および経営コンサルティングサービス	8.4	15.5	6.7	9.6	9.4	7.1
法務、会計、経営コンサルティング、広報サービス	7.2	13.1	5.9	8.8	9.3	7.4
技術、貿易関連等ビジネス サービス	4.9	4.7	3.2	5.4	3.6	8.6
個人的、文化的、レクリエーションサービス	3.0	2.9	1.2	4.2	3.6	15.2
デジタル貿易 小計	19.5	27.1	15.1	19.9	6.9	6.4
サービス計	100.0	100.0	100.0	100.0	4.0	4.0

注. デジタル貿易：コンピュータソフトウェアを複製及び/または配布するためのライセンス、視聴覚製品の複製及び/または配布のライセンス、通信・コンピュータ・情報サービス、専門的及び経営コンサルティングサービスの合計

資料：BEA；U.S. Trade in Services, by Type of ServiceよりITI作成

項目別では、22年の輸出上位はその他業務サービス、金融サービス、旅行、知的財産権等使用料である。10年では、旅行、その他業務サービス、知的財産権等使用料、金融サービスであった。コロナ禍で旅行のシェアが低下

している。

同様に、22年の輸入は輸送、その他業務サービス、旅行、保険の順で金額が大きい。2010年では、輸送、旅行、その他業務サービス、保険であった。旅行の比率が輸出入ともに低下、その他業務サービスが輸出入ともに拡大している。コロナ禍がもたらした構造変化である。

貿易収支は、2022年で金融が1,100億ドル、その他業務サービスが1,070億ドル、知的財産権等使用料が740億ドル、通信・コンピュータ・情報サービスは130億ドルとそれぞれ黒字を計上している。

日本銀行が定義しているデジタル貿易項目（コンピュータソフトウェアを複製及び/または配布するためのライセンス、視聴覚製品の複製及び/または配布のライセンス、通信・コンピュータ・情報サービス、専門的及び経営コンサルティングサービス）による米国のデジタル貿易額は、輸出が2010年の1,111億ドルから22年に2,520億ドルと倍増している。輸入も、同じく660億ドルから1,380億ドルへ増加している。この結果、デジタル貿易収支の黒字幅は470億ドルから1,130億ドルと2.4倍増に拡大している。これは、米国のサービス貿易黒字の48.7%を占める。2010年ではこの比率は32.2%であった。米国はデジタル貿易で稼ぐ競争力を一段と磨いている。米国のデジタルサービス貿易の黒字幅は、黒字創出産業である金融サービスの1,100億ドルに迫っている。

項目別には、コンピュータソフトウェアを複製及び/または配布するためのライセンスが310億ドルから240億ドルと黒字幅が縮小、通信・コンピュータ・情報サービスは30億ドルの赤字から130億ドルの黒字に転換、専門的・経営コンサルティングサービスが190億ドルから770億ドルの黒字と大幅増となっている。

その他業務サービスの中の専門的・経営コンサルティングサービスは、米国は、経営コンサルティング分野で競争力を持つ多くの企業を抱えているが、コロナ禍で業容を大きく拡大させた。例えば、大手コンサルティング企業A社は、パートナーの人数が、コロナ禍前の数年間は約290人程度であったが、2021年には約420人に拡大した。コロナ禍の中で、多くの企業が事業

の立て直しについて助言を求めたことで、コンサルティング業界は活況を呈していた。マッキンゼーやペイン・アンド・カンパニーなど業界大手の間で人材獲得競争が激化していた。ところが、コロナ禍が過ぎ去った23年には、特需も消失し、逆に人員削減を進めている^(注4)。

米国のサービス貿易成長率は2010～22年間で4.0%、このうち高成長を遂げたのが、輸出ではコンピュータサービスの13.7%（特にクラウドサービスの27.6%）、専門的経営コンサルティングの9.4%、研究開発サービスの8.3%である。輸入では、情報サービスの9.0%、知的財産権等使用料の中のコンピュータソフトウェア複製の8.7%、その他業務サービスの中の技術・貿易関連サービスの8.6%、及び専門的経営コンサルティングの7.1%などデジタル関連貿易が成長している。デジタル貿易は、輸出が6.9%、輸入が6.4%と米国サービス貿易の平均成長を上回り牽引力となっている。同じカテゴリーに属する項目が輸出入ともに相互に拡大している点が注目される。

5.3 製造業のサービス輸出

米国のサービス貿易を担っている業種（鉱業、製造業、卸売業、小売業、情報、金融・保険、不動産レンタル、専門的サービス、その他産業）についてみると、2017年で、米国のサービス輸出額が大きな上位3業種は、金融・保険、製造業、情報産業である（表53）。

サービス輸出額に占めるシェアでは、金融・保険が28.4%、製造業21.9%、情報産業21.1%である。輸入額でも、金融・保険、製造業、情報産業という順位になっている。また成長率では、専門的サービスが伸びている。

業種別項目別サービス貿易では、全業種の輸出に占める比率で、2017年にその他業務サービスが34.7%、知的財産権等使用料が27.9%、通信・コンピュータ・情報サービスが9.3%とデジタル関連サービス貿易の比率が大きくなっている（表54）。

このうち、その他業務サービスの輸出では、製造業が占める比率が最も大きく11.5%を占めている。次に専門的サービス産業が7.5%、情報産業が5.1%を占めている。

表53. 米国の業種別サービス貿易・収支（2008・2017年）

（単位：10億ドル、%）

	貿易収支		構成比			
			輸出		輸入	
	2008	2017	2008	2017	2008	2017
鉱業	1	▲0	1.0	0.9	1.1	1.5
製造業	22	30	24.0	21.9	24.5	24.9
卸売業	4	15	4.0	5.4	4.0	3.5
小売業	2	7	1.1	2.4	0.5	1.4
情報	27	54	18.0	21.1	13.2	15.2
金融・保険	6	40	29.4	28.4	40.5	32.1
不動産・レンタル・リース	5	14	1.9	3.4	0.3	0.5
専門的・科学的・技術的サービス	20	10	14.2	11.1	11.0	14.6
その他産業	9	8	6.3	5.5	4.8	6.2
全産業	97	176	100.0	100.0	100.0	100.0
金額			294	453	198	277

資料：BEA；U.S. Trade in Selected Services, by Major Industry and by Service Type（A）
（2008-2017）よりITI作成

製造業のその他業務サービス輸出の内訳は、研究開発サービスが5.6%と過半を占めている。製造業のサービス輸出は知的財産権等使用料も大きいですが、専門的経営コンサルティングサービスの輸出でも製造業は強みを持っている。サービス志向を強める製造業の姿が浮かび上がる

情報産業は知的財産権等使用料や通信・コンピュータ・情報サービス、専門的コンサルティングサービスで強みを持っている。

2017年の業種別輸入では、金融・保険が32.1%、製造業が24.9%、情報が15.2%と輸出と同様の順番となっている。

このうち、製造業の輸入は、その他業務サービスが14.0%と最も大きく、その中の研究開発、専門的経営コンサルティング輸入でともに最大のシェアを占めている。

5.4 欧州をパートナーとする米国のサービス貿易

米国のサービス貿易は欧州が最大のパートナーである。米国のサービス貿易に占める欧州の比率は、2022年で輸出が43.3%、輸入が42.1%といずれも4割を超えている。財の貿易では欧州からインド太平洋にシフトしているが、

表54. 米国の業種別項目別サービス貿易（2017年）

輸出

(単位：%)

業種	保険 サービス	金融 サービス	知的財産権 等使用料	通信・コン ピュータ・ 情報 サービス	その他 業務 サービス	研究開発	専門的・経 営コンサル ティング	技術・貿易 関連、その 他のビジネス	合計
						サービス	サービス	サービス	
鉱業	0.0	(D)	(D)	0.0	0.9	0.0	0.3	0.6	0.9
製造業	0.1	0.2	9.0	1.2	11.5	5.6	4.2	1.6	21.9
卸売業	0.6	0.0	1.8	0.1	2.9	1.0	1.7	0.2	5.4
小売業	(D)	(D)	0.7	(D)	(D)	(D)	0.3	0.0	2.4
情報	(D)	(D)	9.8	5.4	5.1	0.8	3.8	0.5	21.1
金融・保険	3.3	22.1	(D)	(D)	1.9	0.0	1.7	0.2	28.4
不動産・レンタル・リース	-	0.0	1.5	(D)	(D)	(D)	0.2	1.6	3.4
専門的・科学的・技術的サービス	-	0.0	3.0	0.6	7.5	1.5	4.7	1.3	11.1
その他産業	0.1	0.9	1.6	0.1	2.8	0.3	0.5	2.0	5.5
全産業	4.0	24.1	27.9	9.3	34.7	9.3	17.4	8.0	100.0

輸入

業種	保険 サービス	金融 サービス	知的財産権 等使用料	通信・コン ピュータ・ 情報 サービス	その他 業務 サービス	研究開発	専門的・経 営コンサル ティング	技術・貿易 関連、その 他のビジネス	合計
						サービス	サービス	サービス	
鉱業	(D)	(D)	0.0	0.0	1.4	0.0	0.1	1.3	1.5
製造業	0.3	0.3	9.3	1.0	14.0	6.8	5.0	2.2	24.9
卸売業	(D)	(D)	2.0	0.2	1.0	0.5	0.3	0.3	3.5
小売業	(D)	(D)	(D)	0.1	(D)	(D)	0.3	(D)	1.4
情報	0.0	0.1	4.2	3.4	7.6	3.2	2.6	1.8	15.2
金融・保険	16.4	9.7	0.3	2.2	3.6	0.0	3.4	0.2	32.1
不動産・レンタル・リース	(D)	(D)	(D)	0.0	(D)	(D)	0.1	(D)	0.5
専門的・科学的・技術的サービス	0.0	0.0	2.4	7.0	5.2	1.9	2.7	0.7	14.6
その他産業	1.1	0.3	0.6	0.5	3.7	0.3	0.9	2.5	6.2
全産業	18.3	10.5	19.3	14.3	37.6	12.7	15.2	9.7	100.0

注. (D) 個別企業のデータの開示を避けるため、非表示となっている。

資料：BEA；U.S. Trade in Selected Services, by Major Industry and by Service Type (A) (2008-2017) よりITI作成

サービスでは、ほぼ一貫して4割台で安定的に推移している。米国の対欧州サービス貿易成長率を見ても、2010～22年間で輸出が5.3%、輸入が4.2%と平均成長率の4.0%を上回っている。対インド太平洋の成長率は、輸出が3.5%、輸入が5.1%であったから、輸出では対欧輸出が高い。

米国の対欧州サービス輸出が伸びている要因は、アイルランドである。米国の対アイルランドのサービス輸出成長率は、10.3%と大きく伸びた。米国

表55. 米国の国別サービス貿易 (2022年)

(単位: 10億ドル、%)

相手国	構成比				2010-22 平均伸び率		貿易収支	
	輸出		輸入		輸出	輸入	2010	2022
	2010	2022	2010	2022				
カナダ	9.8	7.7	6.5	6.4	1.8	3.8	29	27
欧州	38.0	43.3	41.0	42.1	5.1	4.2	42	108
EU (27)	22.2	25.9	24.2	24.4	5.3	4.0	23	71
アイルランド	4.5	9.1	2.8	3.2	10.3	5.2	14	62
ドイツ	4.6	4.4	7.2	6.2	3.7	2.7	▲5	▲2
フランス	3.1	2.4	4.1	3.8	1.9	3.5	0	▲4
オランダ	2.3	3.0	2.0	2.1	6.2	4.3	5	13
英国	9.6	8.8	10.2	10.5	3.3	4.3	11	9
スイス	3.8	6.0	4.7	4.9	8.1	4.3	1	22
インド太平洋	26.4	25.0	22.8	26.0	3.5	5.1	54	52
日本	7.5	4.1	5.7	5.9	▲1.1	4.1	18	▲2
中国	3.5	4.5	2.6	3.8	6.0	7.3	9	15
韓国	2.9	2.4	2.2	2.1	2.5	3.7	7	8
香港	1.0	1.4	1.7	1.8	7.0	4.6	▲2	0
ASEAN (CLM除く)	3.4	5.3	2.8	3.4	7.7	5.9	8	25
シンガポール	1.8	3.7	1.2	1.5	10.2	6.1	5	24
インド	1.7	2.8	3.5	4.8	8.3	6.7	▲5	▲7
豪州	2.8	2.3	1.4	1.3	2.5	3.2	10	13
中南米 (その他西半球含)	19.5	18.7	23.5	20.4	3.6	2.7	11	32
メキシコ	4.1	4.1	3.6	5.5	3.9	7.6	8	▲1
中東	3.7	3.4	4.1	3.4	3.3	2.2	4	8
アフリカ	2.0	1.5	1.8	1.5	1.6	2.5	4	4
世界	100.0	100.0	100.0	100.0	4.0	4.0	146	232
金額	582	929	436	697				

注. ASEAN (CLM) 除く: ASEAN10か国のうち、カンボジア、ラオス、ミャンマーを除いた7か国の合計。

EU (27): EU27か国を合計したもの。ただし、(*)や(D)が含まれる場合は、それらを除いて合計した。

資料: BEA; U.S. Trade in Services, by Country or Affiliation and by Type of ServiceよりITI作成

のサービス輸出に占めるアイルランドの比率は、2010年の4.5%から22年には9.1%と倍増している。

米国の対インド太平洋サービス輸出成長率は3.5%と平均の4.0%を下回っている。対シンガポール、対中、対インド輸出は高成長を記録しているが、

対日輸出が停滞したことが影響している。

他方、対インド太平洋のサービス輸入成長率は5.1%、対インド、対中国輸入が伸びている。米国の輸入に占める日本のシェアは、2022年で5.9%、対インド太平洋地域では最も高いが、早晚、インド、中国が日本を追い抜くものと見込まれる。

米国はサービス貿易で世界最大の黒字国である。2022年の黒字幅は、2,320億ドル、国地域別内訳は対欧州が1,080億ドルの黒字、このうち6割弱の620億ドルが対アイルランド黒字、対スイスは220億ドルの黒字、対オランダの130億ドルの黒字を合計するとこれら3か国で欧州の黒字の9割弱を占めている。財とは異なり黒字を計上しているが、いずれも経済規模でみて小規模国家であることが共通点である（表56）。

5.5 米国のデジタルサービス貿易収支

BEA（米商務省経済分析局）のサービス貿易によれば、米国のサービス貿易の稼ぎ頭（貿易黒字）は、金融サービス、その他業務サービス、知的財産権等使用料である（表56）。金融サービスは、欧州と中南米のタックスヘイブンに黒字が集中している。

知的財産権等使用料の黒字は、6割弱が欧州によるものでアイルランドとスイス、オランダの黒字幅が大きい。インド太平洋では中国、シンガポール、韓国で稼いでいる。他方、対日本や対ドイツでは知的財産権等使用料は赤字となっている。

その他業務サービスも、欧州で過半を稼ぎ、残りはカナダ、インド太平洋、中南米で分け合っている。その他業務サービスの黒字は、国別にみると、アイルランド、スイス、シンガポールの3か国で黒字の74.8%を占めている。米国の多国籍企業がこれらの3か国を拠点にして、周辺国の市場で販売活動をした収益が還元されているものと推測できる。

次に、米国のデジタル貿易（コンピュータソフトの複製・ライセンス、通信・コンピュータ・情報サービス専門的経営コンサルティングサービス）収支についてみると、2022年は1,129.6億ドルの黒字を計上している（表57）。

表56. 米国のサービス貿易収支 (国地域・項目別：2022年)

(単位：10億ドル)

業種 相手国	輸送	旅行 (教育を含む すべての 目的)	建設	保険 サービス	金融 サービス	知的財産 権等 使用料	通信・コ ンピュ ータ・情 報サー ビス	その他の 業務サー ビス	サービス 計	デジタル 関連 サービス
カナダ	0	8	▲0	2	5	5	▲3	10	27	13
欧州	▲36	▲3	0	▲11	30	43	8	77	108	128
EU (27)	▲25	▲5	▲0	▲4	23	30	2	57	71	88
アイルランド	▲0	▲1	▲0	▲0	5	23	▲3	40	62	59
ドイツ	▲6	2	▲0	▲3	3	▲1	3	3	▲2	5
フランス	▲8	0	0	▲0	1	▲0	1	2	▲4	2
オランダ	▲2	0	(D)	0	3	5	0	7	13	12
英国	▲2	2	(D)	▲1	5	1	3	0	9	3
スイス	▲8	0	(*)	▲6	1	12	4	20	22	35
インド太平洋	▲26	32	(D)	5	15	18	▲1	10	52	27
日本	▲7	1	(D)	3	3	▲6	3	6	▲2	3
中国	▲7	13	0	0	3	7	2	▲5	15	4
韓国	▲0	3	(D)	0	1	3	1	1	8	6
香港	▲3	0	(*)	0	1	(D)	1	0	0	5
ASEAN (CLM除く)	▲2	1	0	0	2	5	0	19	25	25
シンガポール	▲2	0	(*)	0	0	4	1	20	24	25
インド	1	10	(D)	0	1	1	▲12	▲12	▲7	▲22
豪州	1	3	0	1	2	1	3	1	13	5
中南米 (その他西半球含)	▲2	▲14	(D)	▲33	54	8	7	9	32	24
メキシコ	▲3	▲8	(D)	1	3	3	2	1	▲1	6
中東	▲3	▲1	▲0	0	4	1	1	▲0	8	2
アフリカ	0	▲1	▲0	0	2	1	1	1	4	3
世界	▲67	22	1	▲37	110	74	13	107	232	194

注1. (D) 個別企業のデータの開示を避けるため、非公開となっている。

注2. EU (27) : EU27か国を合計したもの。ただし、(*) や (D) が含まれる場合は、それらを除いて合計した。

ASEAN (CLM) 除く : ASEAN10か国のうち、カンボジア、ラオス、ミャンマーを除いた7か国の合計。

注3. デジタル関連サービス : 知的財産権等使用料、通信・コンピュータ・情報サービス、その他業務サービス

資料 : BEA ; サービス貿易データ、U.S. Trade in Services, by Country or Affiliation and by Type of ServiceよりITI作成

この内訳は欧州が661.9億ドル、インド太平洋が171.8億ドル、中南米が179.3億ドルと欧州の黒字幅が突出している。インド太平洋の中では、シンガポールの黒字幅が日本を若干上回って最も大きい。対インドは170.2億ドルの赤

字になっている。

項目別にみると、黒字幅が最も大きいのが専門的経営コンサルティングである。対欧州黒字幅は496.6億ドル、このうち対アイルランドが247.3億ドル

表57. 米国のデジタル貿易収支（2022年）

（単位：100万ドル）

相手国	デジタル貿易	コンピュータソフトウェアを複製及び/または配布するためのライセンス	通信サービス	コンピュータサービス	コンピュータソフトウェア（エンドユーザーライセンス及びカスタマイズ含む）	クラウドコンピューティング及びデータストレージサービス	その他のコンピュータサービス	情報サービス	専門的及び経営コンサルティングサービス
カナダ	7,501	389	331	▲3,468	4,035	(D)	▲8,306	436	9,813
インド太平洋	17,185	11,852	▲75	▲1,178	6,590	1,269	▲9,035	▲24	6,610
日本	8,519	1,645	▲90	(D)	2,605	(D)	(D)	(D)	2,949
中国	3,314	2,327	▲45	1,468	1,102	101	265	300	▲736
韓国	3,209	(D)	19	977	(D)	(D)	(D)	207	681
台湾	1,852	1,487	22	178	146	(*)	6	74	91
香港	2,118	(D)	57	554	357	(*)	108	106	1,401
ASEAN(CLM除く)	8,884	787	▲56	1,955	974	197	615	473	5,725
シンガポール	8,569	521	▲13	1,113	600	112	400	261	6,687
インド	▲17,028	(D)	▲75	▲11,339	▲1,347	▲91	▲9,902	▲306	▲4,202
欧州	66,191	8,599	▲290	3,230	4,797	3,754	▲5,320	4,988	49,664
EU (27)	45,493	14,118	69	▲3,353	2,995	1,470	▲4,470	1,342	33,317
アイルランド	27,015	8,988	▲101	(D)	159	(D)	▲5,628	(D)	24,738
ドイツ	10,574	(D)	12	2,116	1,100	982	35	501	5,061
フランス	2,119	(D)	▲8	886	643	(D)	(D)	326	320
オランダ	5,029	(D)	6	389	(D)	120	(D)	51	4,080
英国	4,139	(D)	▲28	1,489	819	657	13	1,206	189
スイス	15,160	(D)	5	3,586	1,684	976	926	211	10,914
中南米（その他西半球含）	17,936	2,620	2,282	4,767	3,658	848	261	4	8,263
世界	112,966	23,708	2,169	4,366	19,651	6,843	▲22,128	6,055	76,668

注1. (D) 個別企業のデータの開示を避けるため、非公開となっている。

(*) 0から+/-500,000ドルまでの取引。

注2. EU (27) : EU27か国を合計したもの。ただし、(*) や (D) が含まれる場合は、それらを除いて合計した。

ASEAN (CLM) 除く : ASEAN10か国のうち、カンボジア、ラオス、ミャンマーを除いた7か国の合計。

資料 : BEA ; サービス貿易データ、U.S. Trade in Services, by Country or Affiliation and by Type of ServiceよりITI作成

ルと対欧州黒字の5割弱を占め、スイス、カナダ、シンガポールと続いている。これら4か国で米国の黒字の68.0%と7割弱を占めている。

次に、知的財産権等使用料の中のコンピュータソフトの複製・ライセンスが237.0億ドルの黒字を計上している。米国がコンピュータソフトで稼いでいる地域は、インド太平洋で黒字幅は118.5億ドル、対欧州の85.9億ドルを上回っている。インド太平洋地域の稼ぎ頭は、対中国が23.2億ドル、対日本が16.4億ドル、対台湾が14.8億ドルと対中黒字が大きい。欧州では対アイルランドが89.8億ドルと米国の黒字の4割弱を稼いでいる。

情報サービスの黒字は60.5億ドル、そのうち対欧州49.8億ドルを計上している。しかし、インド太平洋は小幅赤字で、対インドに対して3.0億ドルの赤字を出している

コンピュータサービスは43.6億ドルの黒字、コンピュータソフトウェアが196.5億ドルの黒字、クラウドコンピューティングが68.4億ドルの黒字と稼いでいるが、その他のコンピュータが221.2億ドルの大幅赤字になっているため黒字幅は、デジタル貿易の中で最も小さい。コンピュータサービスに係る諸々の事業をインド等の諸国にアウトソーシングしていることがその他コンピュータサービスの赤字の要因とみられる。

コンピュータソフトウェアの黒字は、対インド太平洋で65.9億ドルの黒字を計上して、欧州や中南米の黒字を上回っている。特に対日で26.0億ドルの黒字を計上、カナダに次ぐ黒字幅となっている。

日本はデジタル貿易では競争力がなく、エネルギー貿易赤字の様に、恒常的な貿易赤字構造にある。エネルギー資源に乏しい日本がエネルギー貿易で恒常的赤字構造にあることは当然のことであるが、日本は、デジタル分野の競争力で米国と比べて劣後しており、デジタル貿易収支は赤字構造に陥っている。米国のGAFAやマイクロソフトにクラウドサービス等の使用料を支払ってデジタルサービスのビジネスを展開する日本企業の姿は、米企業に年貢を納めるデジタル小作人に例えられることがある。しかし、米国のデジタル貿易の黒字先は、アイルランドが第1位、次にスイス、ドイツ、シンガポール、そして日本となっている。日本より対米赤字が大きなこれらの国で、デ

デジタル小作人というようなことは聞かれない。課題は、米国のデジタル関連企業に使用料を支払ってより付加価値の高いサービスを創出する能力構築にある。

参考文献

サービス貿易データ

WTO 「Balanced International Trade in Services EBOPS 2010」

BEA（米商務省経済分析局）サービス貿易 「U.S. Trade in Services, Services Supplied Through Affiliates, Characteristics of Firms that Trade Services」

日銀レビュー 「国際収支から見たサービス取引のグローバル化」 2023年8月

注

1. WTO 「Balanced International Trade in Services EBOPS 2010」
2. 「新型コロナウイルスとサービス貿易に関するWTO報告書」 令和2年6月4日
(https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/it/page24_001084.html)
3. サービス貿易項目の詳細は
(<https://www.bea.gov/news/2024/us-international-trade-goods-and-services-march-2024>)
4. WSJ マッキンゼー、新パートナー指名を約35%削減 = 関係筋
By Chip Cutter and Emily Glazer 2023年12月7日